

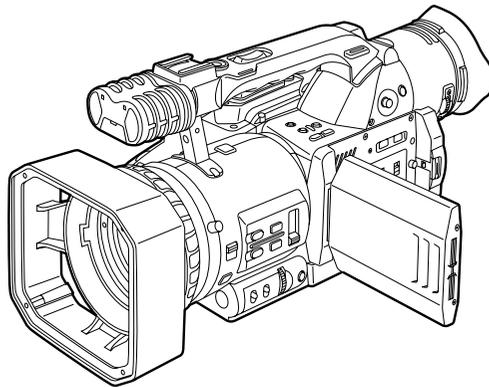
デジタルビデオ カメラ/レコーダー
取扱説明書

品番 AG-DVX100

このたびは AG-DVX100 をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
ございました。

- この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
そのあと保存し、必要なときにお読みください。

Mini DV NTSC



保証書別添付

保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

製造番号は、品質管理上重要なものです。お買い上げの際は、製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

本機で使用できるカセットは、Mini DV マークの付いたデジタルビデオカセットテープです。

著作権 (録画テープの取り扱い)

あなたがビデオで録画したテープは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用はできません。

上手に使って、上手に節電

ご使用後は、忘れずに電源スイッチを切ってください。

目次

安全上のご注意	3	画面表示	50
付属品	9	カメラモード/VCRモード	50
使用上のご注意	10	VCRモード	55
保管上のお願い	12	表示の選択	56
各部の名称と機能	13	外部機器の接続	57
リモコン	23	撮影	58
バッテリーの充電	24	準備と点検	58
バッテリーの取り付け	25	通常の撮影	58
ACアダプターから電源を供給する	25	レックチェック	58
カセットテープについて	26	対面撮影	59
グリップベルトの調節	27	インデックス記録	59
ショルダーベルトの取り付け	27	USER ボタンの活用	59
レンズフードの取り付け	27	間欠記録	59
ファインダーについて	28	バックアップ記録	60
カレンダーを合わせる	30	プロGRESSIVE撮影	61
内蔵電池の充電	31	再生	62
電子シャッターの設定	32	通常の再生	62
ホワイトバランス/ブラックバランス	33	ブランクサーチ	62
ホワイトバランスの調整	33	可変速サーチ	62
ブラックバランスの調整	34	インデックスサーチ	62
ATW (Auto Tracking White) 自動追尾式		結露	63
ホワイト機能	34	ビデオヘッド	63
タイムデータの設定	35	故障?と思ったら (Q & A)	64
ユーザーズビットの設定	35	電源関係	64
タイムコードの設定	36	バッテリー関係	64
シーンファイル	37	通常録画時	64
シーンファイルの設定変更	38	いろいろな録画時	65
設定メニュー	40	編集関係	65
操作方法	40	表示関係	65
設定メニューの構成	41	再生関係 (画像)	65
SCENE FILE 画面	42	再生関係 (音声)	66
CAMERA SETUP 画面	43	その他	66
SW MODE 画面	43	お手入れについて	67
AUTO SW 画面	44	アフターサービス	68
PLAYBACK FUNCTIONS 画面	45	定格	69
RECORDING SETUP 画面	46		
AV IN/OUT SETUP 画面	47		
DISPLAY SETUP 画面	48		
OTHER FUNCTIONS 画面	49		

● LEICA/ライカは、ライカマイクロシステム IRGmbH の登録商標です。

● DICOMAR/ディコマーは、ライカカメラ AG の登録商標です。

その他、この説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 危険	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
(下記は、絵表示の一例です。)

	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

危険

バッテリーを分解・加工（はんだ付けなど）・加圧・加熱・火中投入などをしない



液漏れ・発熱・発火・破裂につながります。

禁止

- 不要（寿命）になったバッテリーについては、11 ページを参照してください。

バッテリーの端子部（ \oplus と \ominus ）に金属物（ネックレスやヘアピンなど）を接触させない



液漏れ・発熱・発火・破裂につながります。

禁止

- ビニール袋などに入れ、金属物と接触させないようにしてください。

バッテリーの充電は、専用の充電器を使う



機器の形状が同じでも性能が異なると、バッテリーの液漏れ・発熱・発火・破裂につながります。

- バッテリーを指定以外の機器に使わないでください。

バッテリーを炎天下（特に真夏の車内）など、高温になるところに放置しない



液漏れ・発熱・発火・破裂につながります。

禁止

警告

<p>不安定な場所に置かない!</p> <p> 落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。</p> <p>禁止</p>	<p>ACコードや接続コードに重いものを載せない!</p> <p> 本機の下敷きにならないよう注意してください。 コードが傷ついて、火災や感電の原因になります。</p> <p>禁止</p>
<p>付属品・オプションは、指定の製品を使用する!</p> <p> 本体に誤って指定外の製品を使用すると、火災や事故を起こす原因になります。</p>	<p>機器の開口部から異物を差し込んだり、落とし込んだりしない!</p> <p> 火災や感電の原因になります。</p> <p>禁止</p>
<p>本機を改造しない!</p> <p> 火災や感電の原因になります。</p> <p>分解禁止</p>	<p>水場で使用しない!</p> <p> 火災や感電の原因になります。</p> <p>水場使用禁止</p>
<p>機器が濡れたり、水が入らないようにする!</p> <p> 火災や感電の原因になります。 雨天・降雪・海岸・水辺での使用は、特にご注意ください。</p>	<p>ACコード・電源プラグが破損するようなことはしない! 傷つけたり、加工したり、高温部に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない!</p> <p> 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。</p> <p>禁止</p>
<p>指定のカバー以外は外さない!</p> <p> 感電の原因になります。</p> <p>分解禁止</p> <ul style="list-style-type: none">点検・整備・修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。	<p> 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。</p> <p>禁止</p> <ul style="list-style-type: none">コードやプラグの修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。
<p>表示された電源電圧以外は使用しない!</p> <p> 火災や感電の原因になります。</p> <p>禁止</p>	<p>定格出力以上の負荷をとらない!</p> <p> 火災の原因になります。</p> <p>禁止</p>

警告

電源プラグは、根元まで確実に差し込む!



火災や感電の原因になります。傷んだプラグやゆるんだコンセントのまま使用しないでください。

ACコードが傷んだ場合は、交換を依頼する!



そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

- お買い上げの販売店にご相談ください。

本機を落としたり破損した場合や、内部に異物や水などが入った場合は、POWER スイッチを切り、バッテリーを外す!



そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

- お買い上げの販売店にご相談ください。

本機を落としたり破損した場合や、内部に異物や水などが入った場合は、POWER スイッチを切り、電源（プラグ）を抜く!



そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

電源プラグを抜く

- お買い上げの販売店にご相談ください。

煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態の場合は、POWER スイッチを切り、バッテリーを外す!



そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

- お買い上げの販売店に修理を依頼してください。

煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態の場合は、POWER スイッチを切り、電源（プラグ）を抜く!



そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

電源プラグを抜く

- お買い上げの販売店に修理を依頼してください。

機器使用の乾電池/バッテリーを、お子さまの手の届く所に置かない!



電池は、お子さまの手の届かないところに置く。

禁止

- 万一、飲み込んだ場合は、医師に相談してください。

乾電池やバッテリーは、極性（+，-）を正しくつなぐ!



破裂や液漏れにより、火災やけが、周囲の汚染原因になります。

⚠ 注意

<p>ACコードを熱器具に近づけない!</p> <p> コードの被覆が溶けて、火災や感電の原因になる恐れがあります。</p> <p>禁止</p>	<p>油煙や湯気、湿気やほこりの多い場所に置かない!</p> <p> 火災や感電の原因になる恐れがあります。</p> <p>禁止</p>
<p>本機の通風孔をふさがない!</p> <p> 内部に熱がこもり、火災の原因になる恐れがあります。</p> <p>禁止</p> <ul style="list-style-type: none">● 風通しの悪い所に押し込まないでください。● テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置かないでください。	<p>プラグやコネクタを抜くときは、コードを引っ張らない!</p> <p> コードが傷つき、火災や感電の原因になる恐れがあります。</p> <p>禁止</p> <ul style="list-style-type: none">● 必ずプラグやコネクタを持って抜いてください。
<p>ぬれた手で電源プラグやコネクタに触れない!</p> <p> 感電の原因になる恐れがあります。</p> <p>禁止</p>	<p>カセットテープ挿入口に、指をはさまれないように注意する!</p> <p> けがをする恐れがあります。</p> <p>指に注意</p>
<p>長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く!</p> <p> 火災の原因になる恐れがあります。</p> <p>電源プラグを抜く</p>	<p>移動させる場合は、POWERスイッチを切り、プラグを抜き、外部の接続コードを外す!</p> <p> コードが傷つき、火災や感電の原因になる恐れがあります。</p>
<p>長時間使用しないときは、バッテリーを外す!</p> <p> 火災の原因になる恐れがあります。</p>	<p>運転中や歩行中は、操作や鑑賞をしない!</p> <p> 操作や鑑賞をする場合、必ず車を停止させて行ってください。事故の原因になります。</p> <p>禁止</p>

⚠ 注意

専用の AC アダプター以外は使用しない!



禁止

定格外の AC アダプターを使用すると、火災の原因になる恐れがあります。

雷が鳴り出したら、本機の金属部や AC アダプターなどの電源プラグにふれない!



接触禁止

落雷すると、感電につながります。

使用時は、安定した場所と、十分な体勢を確保する!



けがや事故につながる恐れがあります。

不安定な場所で、三脚を使わない!



禁止

倒れると、けがをする恐れがあります。

コードやショルダーベルトを下にたらしさない!



禁止

触れたり、引っかけたりすると、落ちてけがをする恐れがあります。

バッテリー（パック）を充電しているときは、周囲に燃えやすいものを置かない!



禁止

火災や感電の原因になる恐れがあります。

レンズやファインダーを太陽や強い光源に向けたままにしない!



禁止

集光により、内部部品破損の原因となり、破損したまま使うと、ショートや絶縁不良で発熱し、火災のおそれがあります。

高温になるところに放置しない!



禁止

特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温（約 60℃以上）になります。カセットテープやビデオカメラを絶対に放置しないでください。外装ケースが変形するだけでなく、内部部品も破損し、故障の原因となります。そのまま使うと、ショートや絶縁不良で発熱し、火災・感電のおそれがあります。

飛行機内で使うときは、航空会社の指示に従う!



本機が出す電磁波などにより、飛行機の計器に影響を及ぼすおそれがあります。

- 病院などで使うときも、病院の指示に従ってください。

⚠ 注意

お手入れの際は、POWER スイッチを切り、電源（プラグ）を抜く！



火災や感電の原因になる恐れがあります。

電源プラグ
を抜く

お手入れの際は、POWER スイッチを切り、バッテリーを外す！



火災や感電の原因になる恐れがあります。

1 年に 1 度ぐらいは、販売店に内部の掃除の相談をしてください



本機の内部にほこりがたまったまま、使用すると、火災や故障の原因になる恐れがあります。

指定外の乾電池やバッテリーは、使用しない！



破裂や液漏れにより、火災やけがの原因になる恐れがあります。

禁 止

ボタン電池の ⊕ ・ ⊖ 部に金属物（ネックレスやヘアピンなど）を接触させない！



接触すると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをするおそれがあります。

禁 止

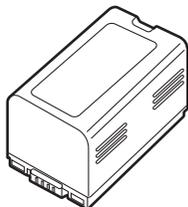
- ビニール袋などに入れ、金属物と接触させないようにしてください。

次の点にご留意ください。

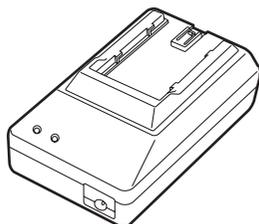
- 大切な録画（結婚式など）の場合は、必ず事前に試し撮りし、正常に録画・録音されていることを確認してください。
- ビデオカメラ、本機およびテープの使用で、万一これらの不具合により録画されなかった場合の録画内容の補償についてはご容赦ください。

付属品

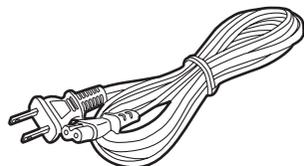
- バッテリー (*)



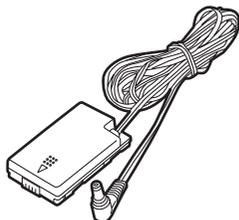
- AC アダプター (*)



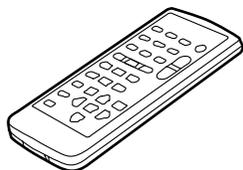
- AC コード (K2CA2DA00010)



- DC コード (VEK8722)



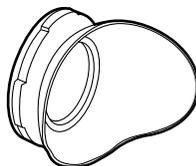
- ワイヤレスリモコン (N2QAEC000003)



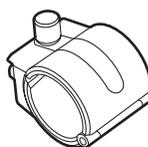
- リモコン用ボタン電池 (CR2025)



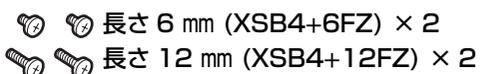
- アイキャップ (VMG1458)



- マイクホルダー (VYC0870)



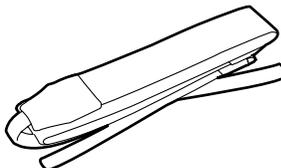
- ネジ



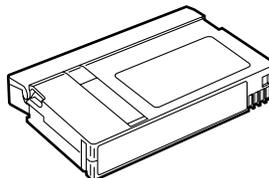
- マイクホルダーアダプター (VYC0890)



- ショルダーベルト (VFC3891)



- クリーニングテープ (AY-DVMCL)



*:
「バッテリー」「ACアダプター」の品番につ
きましては、【別売周辺機器】の項目（70 ペ
ージ）を参照してください。

使用上のご注意

雨天、降雪中、海岸などで使うときは、ビデオカメラに水が入らないようご注意ください。

- ビデオカメラやカセットの故障につながります。(修理できなくなることがあります。)

磁気を発生する機器(テレビ、テレビゲームなど)からビデオカメラを遠ざけてください。

- テレビの上やその周辺でビデオカメラを使用すると、電磁波の放射により画像や音声にひずみが生じることがあります。
- スピーカーや大型モーターが発生する強力な磁場は、テープ録画を破損したり、画像をゆがめることがあります。
- マイクロコンピュータから放出される電磁波は、ビデオカメラに悪影響を及ぼし画像や音声にひずみを生じさせることがあります。
- 磁気を発生する機器によりビデオカメラが悪影響を受け、正確に動作しなくなった場合は、ビデオカメラの電源を切り、バッテリーを外すか、ACアダプターをコンセントから抜きます。そしてもう一度バッテリーを入れるか、ACアダプターを接続します。その後ビデオカメラの電源を入れます。

ビデオカメラをラジオ送信機や高電圧機器の近くで使用しないでください。

- ラジオ送信機や高電圧機器の近くで使用すると、記録した画像や音に悪影響が出るおそれがあります。

海岸などで使用する場合、砂やほこりがビデオカメラに入らないようご注意ください。

- 砂やほこりでビデオカメラやカセットが破損することがあります。(カセットを出し入れするときにはご注意ください。)

ACアダプターとバッテリーについて

- バッテリー本体の温度が極端に高かったり低かったりするとき、もしくはバッテリーが長期間使用されず放電したままになっているとき、[CHARGE]ランプが数回点滅し、充電が自動的に始まります。
- バッテリーが適温でも[CHARGE]ランプが点滅し続けるときは、バッテリーかACアダプターに故障が起きている可能性がありますので、販売店にご相談ください。

- バッテリーが温かいとき、充電時間は通常より長くかかります。
- ACアダプターをラジオの近くで使用すると、ラジオの音がひずむ場合があります。ACアダプターとラジオは1m以上離してお使いください。
- ACアダプターの使用中に、ノイズ音が出る場合がありますが、故障ではありません。

ビデオカメラを持ち運ぶとき、落とさないようご注意ください。

- 強い衝撃でビデオカメラ本体が破損し、正しく動作しなくなることがあります。
- ビデオカメラを持ち運ぶときは、グリップベルトかショルダーベルトを持ち、ていねいに取り扱いってください。

ビデオカメラに殺虫剤や揮発性のものをかけないでください。

- 殺虫剤や揮発性のものがかかると、ビデオカメラ本体が変形したり、塗装がはげるおそれがあります。
- ビデオカメラは、ゴム製品やビニール製品に長期間接触させたままにしないでください。

使用後は、必ずカセットを取り出し、バッテリーを外すかまたは、ACコードをコンセントから抜いておきます。

- カセットを入れたままにしておくと、テープがたるみ、テープをいためます。
- 長期間バッテリーをビデオカメラに付けておくと、バッテリーの電圧値が下がりすぎて、バッテリーは、充電しても再使用できなくなります。

使用上のご注意

バッテリーの特性について

このバッテリーは、充電式リチウムイオン電池です。内部の化学反応で電気エネルギーを発生しています。この化学反応は周囲の温度や湿度の影響を受けやすく、バッテリーの有効使用時間は温度が高くなる、または、低くなるほど短くなります。極端に温度が低い環境で使用した場合は、たった5分ほどしかもちません。

バッテリーが極端に高温になると、保護機能が働き、しばらく使用できなくなります。

使い終わったら、必ずバッテリーを外してください。

ビデオカメラからバッテリーを確実に外してください。（付けたままにしておくと、ビデオカメラの電源が切れていても、微量電流が消費されてしまいます。）長期間バッテリーを付けたままにしておくと、過放電になり、充電しても使用できなくなるおそれがあります。

使用できなくなったバッテリーを処理するとき

- バッテリーには、寿命があります。
不要になった電池（バッテリー）は、貴重な資源を守るために、廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

バッテリーの端子部を保護してください。

バッテリーの端子部にほこりや異物が付かないようにしてください。

また、バッテリーを誤って落下させてしまった場合、バッテリー本体と端子部が変形していないか確認してください。

変形したバッテリーをビデオカメラに入れたり、ACアダプターに付けると、ビデオカメラやACアダプター側を傷めることがあります。

液晶について

- 液晶モニターやビューファインダーに、同じ映像や文字が長時間表示されたまま放置されると、画面に映像の焼き付きが生じることがありますが、数時間電源をOFFにしておくと、元に戻ります。
- 液晶部は、精密度の高い技術で作られています。99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものがあります。これは故障ではなく、記録された映像に何ら影響を与えるものではありません。
- 温度差が激しいところでは、液晶モニターの液晶部に露がつくことがあります。そのような場合は柔らかい乾いた布で拭いてください。
- カメラレコーダが冷え切っている場合、電源を入れた直後は、液晶モニターが通常より少し暗くなります。内部の温度が上がると通常の明るさに戻ります。

レンズやビューファインダーのアイピースは、太陽に向けしないでください。

内部の部品が破損するおそれがあります。

端子の保護キャップについて

使用しない接続端子には、保護キャップを取り付けておいてください。

保管上のお願い

保管時は、ビデオカメラからカセットを出し、バッテリーを外してください。

湿気が少なく比較的湿度が一定な場所にそれぞれ保管してください。

[推奨温度：15℃～25℃]

[推奨相対湿度：40%～60%]

ビデオカメラ

- ほこりが入らないよう、柔らかい布で包んでください。

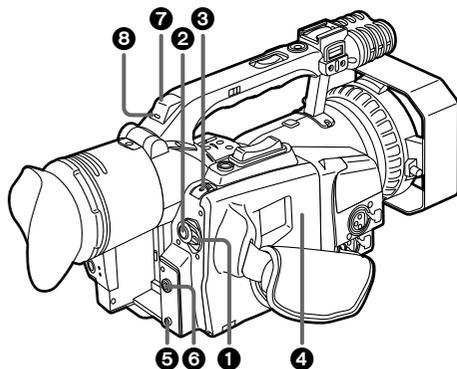
バッテリー

- 極端に低温、高温になる所では、バッテリーの寿命が短くなります。
- 油煙やほこりの多い所に保管すると、端子が錆びるなどして故障の原因となることがあります。
- バッテリーの端子に金属物（ネックレスやヘアピンなど）を接触させないでください。端子間がショートし発熱することがあり、この状態で触れると大やけどをするおそれがあります。
- バッテリーは放電した状態で保管してください。長期保管する場合、1年に1回は充電し、ビデオカメラで充電容量を使いきってから再保管することをおすすめします。

カセットテープ

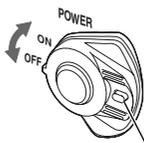
- テープは始端（巻き始め）まで巻き戻して保管してください。テープを途中で止めた状態で半年以上（保管状態により異なります）置いておくとテープがたるみます。必ず始端まで確実に巻き戻してください。
- もとのケースに入れ保管してください。ほこりや直射日光（紫外線）、湿気などはテープをいためることがあります。ほこりには堅い鉱物質の粒子も混じっており、カセットにはほこりが入るとビデオカメラのヘッドやその他の部品をいためてしまいます。必ずもとのケースに戻す習慣を付けてください。
- 半年に一度は巻き直しをしてください。テープを1年以上巻いたままにしておくと、温度や湿度の変化による膨張、収縮などでゆがみが起きることがあります。また、テープどうしが張り付いてしまうことがあります。
- 強い磁気を持つ物質や機器の近くにカセットを置かないでください。
- テープの表面には極めて細かな磁気粒子がコーティングされており、ここで信号を記録しています。磁気ネックレスやおもちゃなどは、思ったより磁気が強く、録画内容を消したり、画面や音声にノイズを発生させる原因となることがあります。

各部の名称と機能



① POWER スイッチ

ロック解除ボタンを押しながら、このスイッチを動かしてください。



ロック解除ボタン

② START/STOP ボタン

カメラモードのときにこのボタンを押すと、撮影の開始と停止が切り替わります。カメラモードとVCRモードは、CAMERA/VCR ボタン⑭で切り替えます。

③ EJECT スイッチ

ロック解除ボタンを押しながら、矢印の方向にスイッチをスライドさせて、カセットホルダーを開きます。

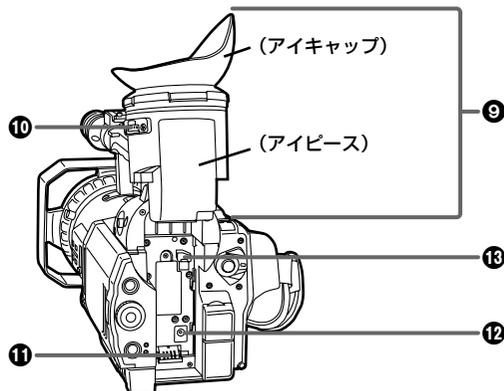
記録中は、この操作を行わないでください。カセットホルダーは開きますが、記録を継続していますので、外部の光やホコリがテープに悪影響を及ぼします。

カセットホルダー側だけを持って、テープの出し入れを行わないでください。

カセットテープの出し入れは、安定した水平な場所に置いて行うか、カセットホルダーが開いても、安定した状態が保てるように、両手で本機を支えながら行ってください。



ロック解除ボタン



④ カセットホルダー

⑤ CAM REMOTE ジャック (2.5 mm ミニジャック)

リモートコントローラーを接続して、ズーム操作と記録スタート/ストップの操作をリモート制御することができます。

⑥ PHONES ジャック (3.5 mm ステレオミニジャック)

音声をモニターするときに、ヘッドホンを接続します。

⑦ リモコンセンサー (リア)

⑧ タリーランプ (リア)

本機の状態に応じて、点灯や点滅を行います。

点灯：撮影中

点滅：

- リモコン操作の受信時 (1 秒間に約 8 回)
- 撮影開始時 (1 秒間に約 8 回)
- テープの終端位置になったとき (1 秒間に約 4 回)
- テープ走行系の異常が発生したとき (1 秒間に約 4 回)
- テープ残量やバッテリー残量が少なくなったとき (1 秒間に 1 回)

タリーランプを点灯させる設定は、設定メニュー OTHER FUNCTIONS 画面の REC LAMP 項目で行います。(49 ページ参照)

⑨ ビューファインダー

⑩ 視度調整ダイヤル

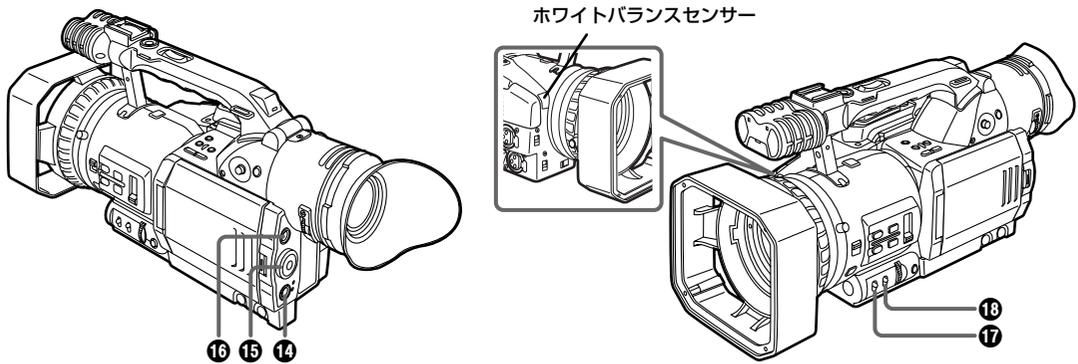
ビューファインダーの画面がはっきり見えるように調整します。

⑪ 電源端子

⑫ DC INPUT 端子 (7.9V)

⑬ バッテリー取外しボタン

各部の名称と機能



14 CAMERA/VCR ボタンとランプ

このボタンを押す毎に、カメラモードとVCRモードが切り替わり、切り替えられたモードのランプが点灯します。

撮影するときは、カメラモードに切り替えます。

テープの内容を確認するときや、外部から映像信号を入力して記録するときは、VCRモードに切り替えます。

15 シーンファイルダイヤル

シーンファイル (37 ページ参照) を選択します。

各種撮影状況に応じた設定を、シーンファイルダイヤルの各ポジションに保存しています。

撮影時、シーンファイルダイヤルで瞬時に必要なファイルが読み出せます。

16 END SEARCH ボタン

VCR モードのときにこのボタンを押すと、ビデオテープの無記録部分を検索し、無記録部分の約 1 秒手前で静止画になります。

また、設定メニュー PLAYBACK FUNCTIONS 画面の END SEARCH 項目の設定により、撮影した最後の部分を検索することもできます。(45 ページ参照)

- テープを取り替えると、このボタンで撮影した最後の部分を検索することができません。
- テープに記録部分がない場合は、テープ終端で停止します。
- テープ始端付近や途中に無記録部分がある場合、正しく動作しないことがあります。
- 記録するときは、検索した画像を確認してから行ってください。

17 GAIN スイッチ

カメラの画面が暗いときに、このスイッチを切り替えてゲインを上げ、画面を明るくします。M と H のゲイン値は、設定メニュー SW MODE 画面の MID GAIN 項目と HIGH GAIN 項目で設定します。(43 ページ参照)

L : 通常は、この位置にします。(0dB)

M : カメラ映像アンプのゲインを上げます。(工場出荷時は 6dB)

H : カメラ映像アンプのゲインを上げます。(工場出荷時は 12dB)

- プログレッシブモードの場合は、GAIN スイッチの位置に関係なく、固定されたゲイン値で制御されます。

18 WHITE BAL スイッチ

ホワイトバランスを設定します

A、B :

AWB ボタン 19 で調整されたホワイトバランスの値が、メモリーされます。

PRESET :

ホワイトバランスを調整する時間がないときなどに、この位置にします。

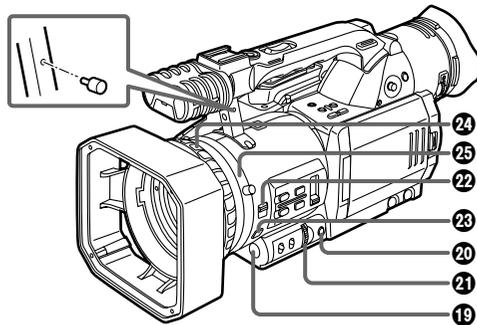
3200K と 5600K のホワイトバランス値をメモリーしています。

AWB ボタンを押して、3200K と 5600K を切り替えます。

- 設定メニュー SW MODE 画面の ATW 項目では、A/B/PRST の何れかのポジションに ATW (Auto Tracking White) 自動追尾式ホワイト機能を割り当てることができます。(43 ページ参照)
- ホワイトバランスセンサーで、撮影時の光源がどのようなものか判断します。撮影時にホワイトバランスセンサーの前を手などでふさがらないでください。ATW が正常に動きません。

各部の名称と機能

ズームリングのピン



19 AWB ボタン

WHITE BAL スイッチ 18 を A または B の位置にしてこのボタンを押すと、ホワイトバランスを自動調整し、ホワイトバランス値がメモリーされます。

更にこのボタンを押し続けると、ブラックバランスの調整を行います。

プログレッシブモードのときは、このボタンを押すだけで、ホワイトバランスを自動調整した後、続けてブラックバランスの調整を行います。

WHITE BAL スイッチ 18 が PRESET の位置のときにこのボタンを押すと、現在のホワイトバランス値が表示されます。

再度このボタンを押すと、3200K と 5600K のホワイトバランス値が交互に切り替わります。

- 記録中は、ブラックバランスの調整を行うことができません。

20 IRIS ボタン

ボタンを押す毎に、レンズ絞りの調整方法をオートモードとマニュアルモードに切り替えます。

21 IRIS ダイアル

レンズの絞りを調整します。

IRIS ボタン 20 でマニュアルモードになっているときは、このダイアルでレンズの絞りを調整します。

オートモードのときでも、レンズの絞りをこのダイアルで補正することができます。

- 設定メニュー SW MODE 画面の IRIS DIAL 項目では、IRIS ダイアルの回転方向と絞り制御を設定することができます。(43 ページ参照)

22 FOCUS スイッチ

フォーカスの制御方法を切り替えます。

A (AUTO) :

オートフォーカスモード

M (MANUAL) :

マニュアルフォーカスモード

フォーカスリング 24 を手動で制御して、焦点を合わせます。

∞ :

焦点距離を無限大に合わせた後、マニュアルフォーカスモードになります。

∞の位置にしても、FOCUS スイッチは、M (MANUAL) の位置に戻ります。

- マニュアルフォーカスモードに設定されていても、AUTO ボタン 27 を押したときは、AUTO ボタンの設定が優先されます。
- フリッカーが生じると、オートフォーカスの制御が正しく動作しないときがありますので、照明に適したシャッタースピードを選択してください。(32 ページ参照)
- プログレッシブモードの場合は、マニュアルフォーカスになります。

23 PUSH AUTO ボタン

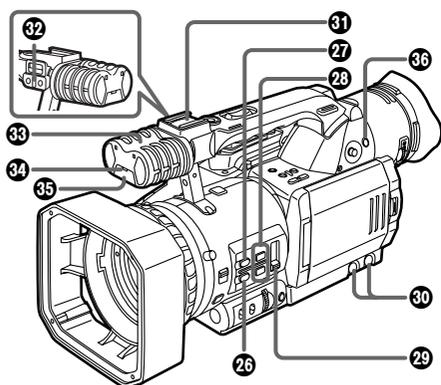
FOCUS スイッチが M (MANUAL) の位置でも、このボタンを押している間は、オートフォーカスモードになり、自動で焦点を合わせます。

24 フォーカスリング

25 ズームリング

ズームリングのピンが不要な場合、ハンドル下のネジ穴にピンを取り付け、紛失しないようにしてください。

各部の名称と機能



26 INDEX ボタン

撮影や記録の最中に INDEX ボタンを押すと、インデックス信号がテープに記録されます。また、撮影や記録の一時停止状態のときに INDEX ボタンを押すと、インデックス信号の記録待機状態になります。撮影や記録を開始すると、インデックス信号がテープに記録されます。インデックス信号を記録することで、再生時に検索（インデックスサーチ）することができます。（62 ページ参照）

27 AUTO ボタン

AUTO ボタンを押すと、設定メニュー AUTO SW 画面で設定された動作モードになり、**A**がビューファインダーや液晶モニターの上部に表示されます。設定メニュー AUTO SW 画面では、AUTO ボタンを押したとき行いう自動処理（オートアイリス、オートゲインコントロール、オートトラッキングホワイト、オートフォーカス）の動作モードを設定します。（44 ページ参照）再度、このボタンを押すと設定が解除されます。

28 USER1/USER2 ボタン

USER1 ボタンと USER2 ボタンには、9 種類の機能から 1 つの機能をそれぞれのボタンに割り付けることができます。被写体に合わせて、撮影する条件を瞬時切り替えることや、フェード効果を映像に加えることができます。詳しくは、設定メニュー SW MODE 画面の USER1 項目と USER2 項目（44 ページ）を参照してください。

29 ND FILTER スイッチ

使用する ND フィルター（光量の調節フィルター）を選択します。
OFF：ND フィルターを使用しません。
1/8：光の量を、約 8 分の 1 にカットします。
1/64：光の量を、約 64 分の 1 にカットします。

30 AUDIO コントロールつまみ

内蔵マイクロホン **33** や INPUT 1/2 端子 **42** に入力された、音声信号の記録レベルを調整します。
● AUDIO IN/OUT CH1/CH2 端子 **39** に入力された音声信号は調整できません。

31 ライトシュー

ビデオライトなどを取り付けます。

32 マイクロホンシュー

付属のマイクホルダーを取り付け、マイクロホン（別売）などを取り付けます。（57 ページ参照）

33 マイクロホン（内蔵式、ステレオ）

外部から強い負荷を加えないでください。破損することがあります。

34 タリーランプ（フロント）

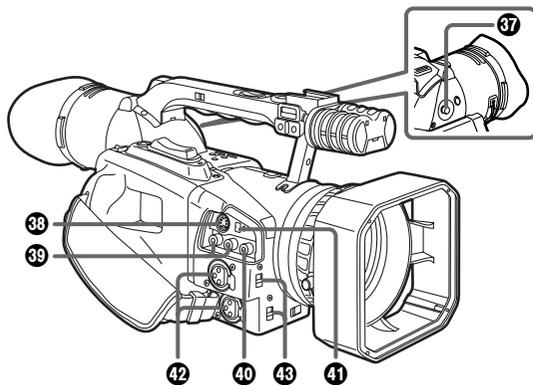
タリーランプ（リア）**8** を参照してください。（13 ページ参照）

35 リモコンセンサー（フロント）

36 MENU ボタン

このボタンを押すと、メニューモードになり設定メニュー画面がビューファインダーや液晶モニターに表示されます。再度、このボタンを押すとメニューモードが解除されます。

各部の名称と機能



37 OPERATION レバー

VCR の操作やメニューの操作をこのレバーで行います。

[VCR モードのとき]

[▶] :

停止中、▶ の方向にこのレバーを倒すと、テープを再生します。

再生中、▶ の方向にこのレバーを倒すと、可変速サーチモード (62 ページ参照) になり、× 1 倍速でテープを再生します。(音声は再生されません。)

[▶▶] :

停止中、▶▶ の方向にこのレバーを倒すと、テープを早送りします。

再生中、▶▶ の方向にこのレバーを倒すと、× 10 倍速でテープを再生します。

[◀◀] :

停止中、◀◀ の方向にこのレバーを倒すと、テープを巻き戻します。

再生中、◀◀ の方向にこのレバーを倒すと、× 10 倍速でテープを巻き戻し再生します。

[■] :

■ の方向にこのレバーを倒すと、テープを停止します。

[||] :

再生中にこのレバーを押すと、一時停止状態になります。

[メニューモードのとき]

[▲] :

▲ の方向にこのレバーを倒すと、メニュー画面に表示される項目を上に移動します。

[▼] :

▼ の方向にこのレバーを倒すと、メニュー画面に表示される項目を下に移動します。

[||] :

このレバーを押して設定値を変更します。

[カメラモードのとき]

[▶▶] :

撮影一時停止中、▶▶ の方向にこのレバーを倒すと、レバーを倒している間、× 1 倍速でテープを再生します。

[◀◀] :

撮影一時停止中、◀◀ の方向にこのレバーを倒すと、レバーを倒している間、× 1 倍速でテープを巻き戻し再生します。

- 撮影の一時停止中に、今まで撮影した場面を確認することができます。

38 S-VIDEO IN/OUT 端子

S 映像の入出力端子です。

39 AUDIO IN/OUT CH1/CH2 端子 (ピンジャック)

音声信号の入出力端子です。

40 VIDEO IN/OUT 端子 (ピンジャック)

映像信号の入出力端子です。

41 DV 端子

IEEE1394 (4 ピン) ケーブル (別売) を接続します。

映像信号や音声信号、また、タイムコードなどを、デジタルで伝送することができます。

42 INPUT 1/2 端子 (XLR、3 ピン)

外部マイクやオーディオ機器を接続します。

43 INPUT 1/2 スイッチ

INPUT 1/2 端子に接続した音声入力信号を切り替えます。

LINE :

ライン入力するオーディオ機器からの音声入力信号。

入力レベルは、OdBu です。

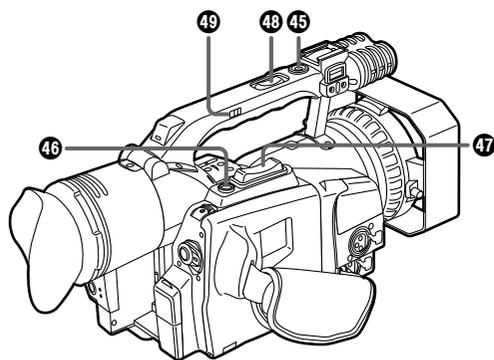
MIC :

外部マイクからの音声入力信号。

入力レベルは、- 50dBu です。

設定メニュー RECORDING SETUP 画面の MIC GAIN 1 と MIC GAIN 2 項目で入力レベルを - 60dBu に変更することができます。(46 ページ参照)

各部の名称と機能



44 ZOOM スイッチ

モータードライブでのズーム操作と手動でのズーム操作を切り替えます。

SERVO :

モータードライブでのズーム操作
(このとき、手動でズーム操作を行わないでください。故障の原因になります。)

MANU :

手動でのズーム操作

45 START/STOP ボタン (ハンドル側)

カメラモードのときにこのボタンを押すと、撮影の開始と停止が切り替わります。カメラモードと VCR モードは、CAMERA/VCR ボタン 14 で切り替えます。

46 REC CHECK ボタン

撮影一時停止状態のときにこのボタンを押すと、停止していた直前の映像と音声を数秒間再生し、元の位置で撮影一時停止状態になります。

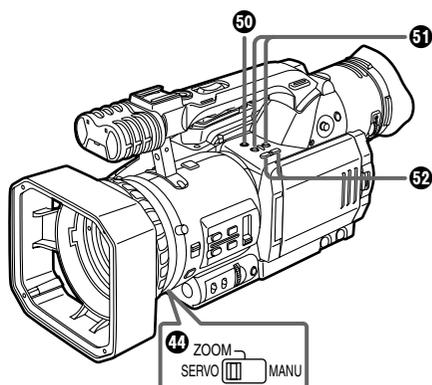
47 ズームボタン

ZOOM スイッチが SERVO の位置のときに、モータードライブでズーム動作を行います。このボタンを軽く押すと、低速でズーム動作を行い、強く押すと高速でズーム動作を行います。

48 ズームボタン (ハンドル側)

49 HANDLE ZOOM スイッチ

ハンドル側のズームボタン 48 で行うズーム動作のスピードを 3 段階に切り替えます。設定メニュー SW MODE 画面の HANDLE ZOOM 項目でスピードの設定を行います。(43 ページ参照)



50 AUDIO DUB ボタン

VCR モードのときに一時停止状態にして、このボタンを押すと、アフレコを開始できる状態になります。

OPERATION レバー 37 の [II] を押して音声を記録してください。終了するときは、OPERATION レバーを [■] の方向に倒します。設定メニュー AV IN/OUT SETUP 画面の A DUB INPUT 項目で、アフレコを行う音声入力の設定を行います。(47 ページ参照)

- アフレコを行う場合は、設定メニュー RECORDING SETUP 画面の AUDIO REC 項目を 12bit に設定して撮影を行ってください。(46 ページ参照)

51 VCR REC ボタン

VCR モードの停止中に、この 2 つのボタンを同時に押すと、接続している機器からの映像信号を記録します。

VCR モードの再生一時停止の状態、この 2 つのボタンを同時に押すと、記録待機状態になります。

OPERATION レバー 37 の [II] を押す毎に、記録と記録待機状態を切り替えます。終了するときは、OPERATION レバーを [■] の方向に倒します。

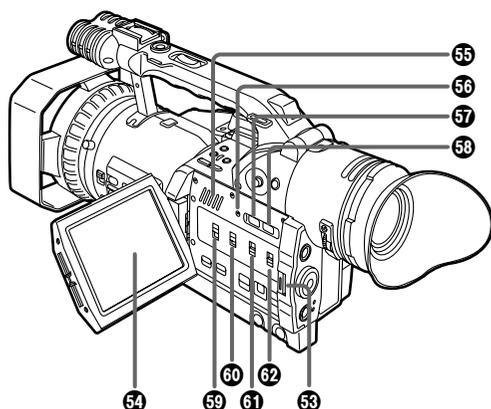
- 映像信号が入力されていることを確認してから記録を行ってください。

52 AUDIO MON/VAR ボタン

内蔵スピーカー 55 と PHONES ジャック 6 から出力される音量を調整します。

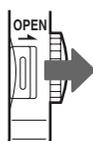
カメラモードのときは、調整できません。可変速サーチモードのときには、再生方向や再生速度を変化させます。(62 ページ参照) 一時停止中にこのボタンを押すと、コマ送り再生になります。

各部の名称と機能



53 OPEN ボタン

矢印の方向に OPEN ボタンを押して液晶モニター 54 を開きます。液晶モニターを開くと、ビューファインダーの映像が液晶モニターに切り替わります。映像の切り替えは、設定メニュー DISPLAY SETUP 画面の EVF MODE 項目で設定できます。(48 ページ参照)



54 液晶モニター

55 内蔵スピーカー

56 RESET ボタン

電源が入っているのに操作できないなど、トラブルがおこったときに、先の細いもので押してください。システムマイコンのリセットを行います。リセットを行っても、確定した設定メニューの値や、メモリーしている内容は、消えません。本機が正常に動作しているときは、押さないでください。

57 SHUTTER ボタン

シャッタースピードを変えるときに、このボタンを押します。このボタンを押した後に SPEED SEL ボタン 58 を押して、シャッタースピードを選択します。(32 ページ参照)

58 SPEED SEL ボタン

SHUTTER ボタン 57 を押した後にこのボタンを押して、シャッタースピードを選択します。(32 ページ参照)

59 CH1 SELECT スイッチ

音声チャンネル 1 のトラックに記録する入力信号を選択します。

INT (L) : 内蔵マイク Lch の音声信号

INPUT1 : INPUT 1 端子に入力される音声信号

INPUT2 : INPUT 2 端子に入力される音声信号

60 CH2 SELECT スイッチ

音声チャンネル 2 のトラックに記録する入力信号を選択します。

INT (R) : 内蔵マイク Rch の音声信号

INPUT2 : INPUT 2 端子に入力される音声信号

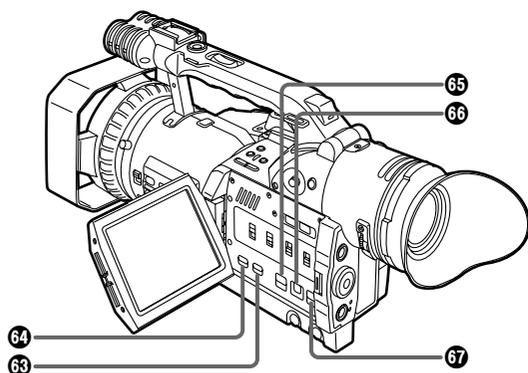
61 INPUT 1 スイッチ (MIC POWER + 48V)

ON の位置にすると、INPUT 1 端子に +48V 電源 (ファントムマイク用の電源) を供給します。

62 INPUT 2 スイッチ (MIC POWER + 48V)

ON の位置にすると、INPUT 2 端子に +48V 電源 (ファントムマイク用の電源) を供給します。

各部の名称と機能



63 COUNTER RESET ボタン

カウンター表示部のカウンター値やメモリーカウンター値を、ゼロにリセットします。タイムコードとユーザズビットは、リセットできません。

64 COUNTER ボタン

ビューファインダーや液晶モニターに表示される、カウンター表示部のデータ内容を切り替えます。

このボタンを押す毎に、下記のデータに切り替わります。

COUNTER :

カウンター値の表示

M COUNTER :

メモリーストップモードのカウンター値の表示

TC : タイムコードの表示

UB : ユーザズビットの表示

FR : プログレッシブモードで撮影を行うときのフレームレート情報 (30P/24P/24PA) とフレーム変換を行うシーケンス情報の表示

無表示 : データを表示しません。

メモリーストップモード

COUNTER ボタンで M COUNTER に表示を切り替えると、メモリーストップモードになります。

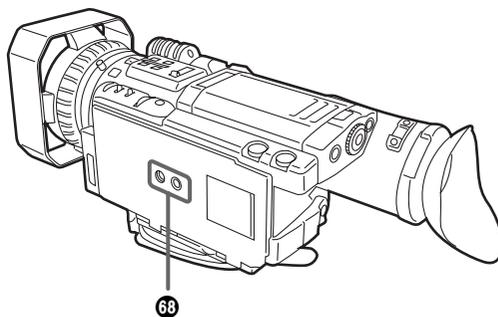
① M COUNTER に表示を切り替え、テープの任意の位置で、COUNTER RESET ボタン 63 を押しカウンター値をリセットします。

② 再生や撮影を行います。

③ CAMERA/VCR ボタンで、VCR モードにします。

④ テープの巻き戻しや早送りを行うと、カウンターのリセットを行った付近で自動的にテープ走行が停止します。

- アフレコを行うときに、OUT 点でカウンター値をリセットしておくこと、メモリーストップモードでアフレコを停止することができます。



65 MODE CHK ボタン

このボタンを押すと、現在設定されているカメラの状態が、ビューファインダーや液晶モニターに表示され確認できます。

66 ZEBRA ボタン

カメラモードのときにこのボタンを押すと、ゼブラパターンやマーカがビューファインダーや液晶モニターに表示され、被写体の明るさを確認できます。

このボタンを押す毎に、下記のように表示が切り替わります。



設定メニュー DISPLAY SETUP 画面の ZEBRA DETECT 1 項目と ZEBRA DETECT 2 項目で、それぞれのゼブラパターンのレベルを設定することができます。

また、マーカは、MARKER 項目で表示の ON/OFF を設定することができます。

(48 ページ参照)

ゼブラパターン

露出オーバーで白トビが発生する可能性のある部分を、縞模様で表示します。

67 OIS ボタン

手ぶれ補正 ON/OFF の切り替えを行います。手ぶれ補正が ON のときは、ビューファインダーや液晶モニターに (OIS) が表示されます。

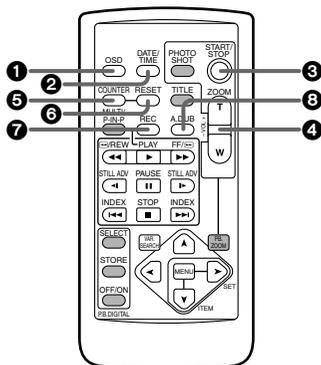
撮影する条件に合わせて使い分けてください。

三脚を使用して撮影を行うときは、OFF に設定することをお奨めします。

68 三脚取り付け穴

各部の名称と機能

リモコン



下記に示すボタンは、本機では動作しない機能のボタンです。ご了承ください。

- PHOTO SHOT
- MULTI/P-IN-P
- STORE
- PB. ZOOM
- TITLE
- SELECT
- OFF/ON
- ◀

1 OSD ボタン

このボタンを押すと、ビューファインダーや液晶モニターに表示されている情報が、映像出力信号に付加されて、モニターテレビにも表示できます。

再度、このボタンを押すとモニターテレビの表示が消えます。

2 DATE/TIME ボタン

このボタンを押すと、撮影した年月日と時刻がビューファインダーや液晶モニターに表示されます。

このボタンを押す毎に、下記の表示に切り替わります。

↻	表示無し
↑	時刻の表示
↓	日付の表示
↻	時刻と日付の表示

3 START/STOP ボタン

ビデオカメラ本体の START/STOP ボタンと同じ機能です。

4 ZOOM/VOL ボタン

撮影時は、モータードライブでのズーム動作を行います。

ズームスピードは、中速に固定されています。テープの再生時は、内蔵スピーカーと PHONES ジャックから出力される音量を調整します。

5 COUNTER ボタン

ビデオカメラ本体の COUNTER ボタンと同じ機能です。

6 COUNTER RESET ボタン

ビデオカメラ本体の COUNTER RESET ボタンと同じ機能です。

7 REC ボタン

VCR モードの停止中に、このボタンと PLAY ボタンを同時に押すと、接続している機器からの映像信号を記録します。

VCR モードの再生一時停止の状態では、このボタンと PLAY ボタンを同時に押すと、記録待機状態になります。

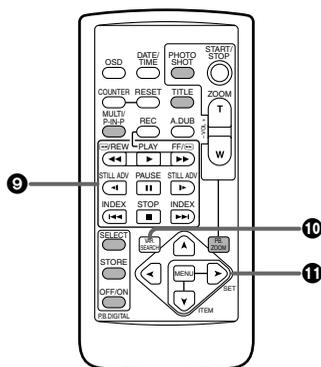
PAUSE ボタン (||) を押す毎に、記録と記録待機状態を切り替えます。

終了するときには、STOP ボタン (■) を押しします。

8 A. DUB ボタン

ビデオカメラ本体の AUDIO DUB ボタンと同じ機能です。

各部の名称と機能



⑨ VCR 操作ボタン

◀◀/REW ボタン (◀◀)

ビデオカメラ本体の OPERATION レバーと同じ機能です。

▶▶/FF ボタン (▶▶)

ビデオカメラ本体の OPERATION レバーと同じ機能です。

▶ ボタン (▶)

VCR モードのときにこのボタンを押すと、テープを再生します。

また、REC ボタンと同時に押すと、接続している機器からの映像信号を記録します。

◀、▶ ボタン (◀、▶)

テープ再生中にこのボタンを押すと、スロー再生になります。

また、一時停止中にこのボタンを押すと、コマ送り再生になります。

(◀ は逆方向、▶ は正方向)

◀◀、▶▶ ボタン (◀◀、▶▶)

テープ再生中にこのボタンを押すと、記録部分の頭出しを行います。

(◀◀ は逆方向、▶▶ は正方向)

⏸ ボタン (⏸)

ビデオカメラ本体の OPERATION レバーと同じ機能です。

■ ボタン (■)

ビデオカメラ本体の OPERATION レバーと同じ機能です。

⑩ VAR. SEARCH ボタン

再生中にこのボタンを押すと、可変速サーチモードになり、ビューファインダーや液晶モニターに [1 ×] が表示されます。SET ボタン⑪の [▲ ▼] ボタンを押すと再生速度が変化します。

再生速度は、[▲ ▼] ボタンを押す毎に 1/5 (LP モードは 1/3) 倍速、1 倍速、2 倍速、5 倍速、10 倍速、20 倍速と変化します。

[▲] ボタンで正方向に速度を変化させ、[▼] ボタンで逆方向に速度を変化させます。

⑪ SET ボタン

MENU ボタン

ビデオカメラ本体の MENU ボタンと同じ機能です。

[▲] ボタン：

メニューモードのときにこのボタンを押すと、メニュー画面に表示される項目を上に移動します。

サーチモードのときにこのボタンを押すと、正方向に速度を変化させます。

[▼] ボタン：

メニューモードのときにこのボタンを押すと、メニュー画面に表示される項目を下に移動します。

サーチモードのときにこのボタンを押すと、逆方向に速度を変化させます。

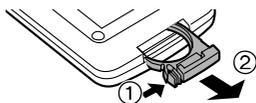
[▶] ボタン：

メニューモードのときにこのボタンを押して、設定値を変更します。

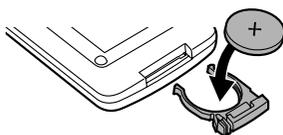
リモコン

電池の入れ方

- 1 つまみを矢印の方向に押しながら、ホルダーを引き抜きます。



- 2 電池の“+”マークを上に向け、入れます。



- 3 ホルダーを元に戻します。



- 電池 (CR2025) が消耗した場合は、新しい電池と交換してください。(電池の寿命は使用頻度にもよりますが、約 1 年です) リモコンを本機のリモコンセンサーの近くで操作しても動作しない場合は、電池が消耗しています。
- 電池は、幼児の手の届かないところに置いてください。

リモコンの設定

本機と付属のワイヤレスリモコンには、同時に 2 台のビデオカメラを使用したときに、リモコン操作での誤動作を防ぐため、[VCR1] 用と [VCR2] 用に設定することができます。

設定方法

● ワイヤレスリモコン

VCR 操作ボタンの STOP (■) と STILL ADV (▶) を同時に押しと VCR1 用のリモコンに設定されます。

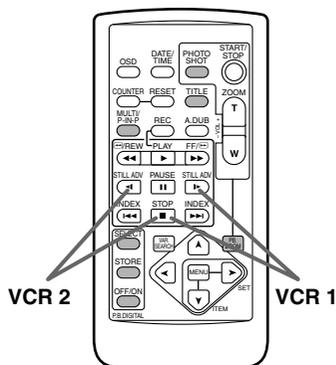
同様に、STOP (■) と STILL ADV (◀) を同時に押しと VCR2 用のリモコンに設定されます。

リモコンの電池を交換したときは、VCR1 用の設定になります。

● ビデオカメラ本体

設定メニュー OTHER FUNCTIONS 画面の REMOTE 項目で VCR1 と VCR2 を設定します。(49 ページ参照)

ビデオカメラ本体とリモコンの設定が違うときは、ビューファインダーや液晶モニターに赤い文字の REMOTE が点灯して表示されます。



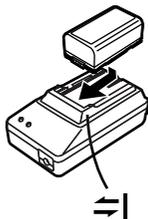
バッテリーの充電

バッテリーを使用する前に、AC アダプターでフル充電を行ってください。

また、予備のバッテリーを 1 本用意されることをお勧めします。

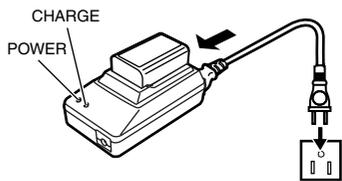
1 AC アダプターのマークにそってバッテリーを水平ののせ、スライドさせます。

- AC アダプターに DC コードを接続している場合は、取り外しておいてください。接続していると、充電できません。



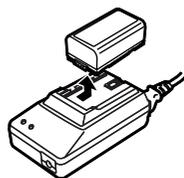
2 AC コードをコンセントに接続します。

- AC アダプターの POWER ランプと CHARGE ランプが点灯し、充電を開始します。
- バッテリーを取り付けたとき CHARGE ランプが点灯しない場合、バッテリーを取り付け直してください。



3 充電が終わると、AC アダプターの CHARGE ランプが消灯します。

4 バッテリーをスライドさせて取り外します。



付属のバッテリーの充電時間と録画時間

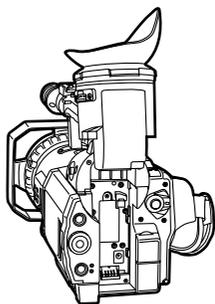
充電時間	連続録画可能時間
約 120 分	約 90 (80) 分

- 上の表は、おおよその時間です。() の中は、液晶モニターを使用する場合の時間です。
- 上の表は、動作周囲温度 20℃、動作相対湿度 60% での時間です。それ以外の温度や湿度では、充電時間が長くなる場合があります。

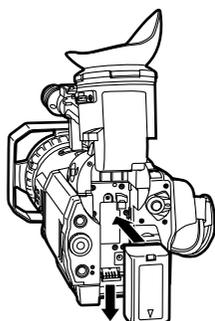
- **バッテリーの端子に、金属物（ネックレスやヘアピンなど）を接触させないでください。端子間がショートして発熱することがあり、この状態で触れると大やけどをするおそれがあります。**
- バッテリーは、使用中や充電中には温度が高くなります。またビデオカメラ本体も、同じように温度が高くなります。
- 必要以上に録画と停止を繰り返しますと、録画時間は上の表より短くなります。
- バッテリーは、放電した状態で保管してください。長期保管する場合、1 年に 1 回は充電し、ビデオカメラで充電容量を使いきってから再保管することをおすすめします。
- バッテリーの温度が極端に高かったり低かったりするとき、もしくは、バッテリーが長期間使用されず放電したままになっているとき、CHARGE ランプが数回点滅し、充電が自動的に始まります。
- バッテリーが適温でも、CHARGE ランプが点滅し続けるときは、バッテリーか AC アダプターに故障が起きている可能性がありますので、販売店にご相談ください。
- バッテリーが温かいとき、充電時間は通常より長くなります。
- AC アダプターをラジオの近くで使用すると、ラジオの音がひずむ場合があります。AC アダプターとラジオは 1m 以上離してお使いください。
- AC アダプターの使用中に、AC アダプターからノイズ音が出る場合がありますが、故障ではありません。
- AC アダプターからビデオカメラ本体に電源を供給しているときは、バッテリーの充電を行うことができません。

バッテリーの取り付け

1 ビューファインダーを起こします。



2 バッテリーをまっすぐ押しあて、「カチッ」と音がするまで下にずらしします。



3 ビューファインダーを元の位置に戻します。

AC アダプターから電源を供給する

1 ビューファインダーを起こします。

2 DC コードのバッテリー型のコネクタをまっすぐ押しあて、「カチッ」と音がするまで下にずらしします。

3 DC コードを AC アダプターに接続します。

4 AC コードをコンセントに接続します。

5 ビューファインダーを元の位置に戻します。

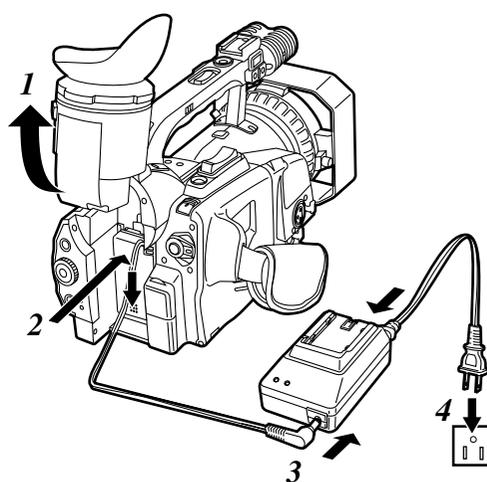
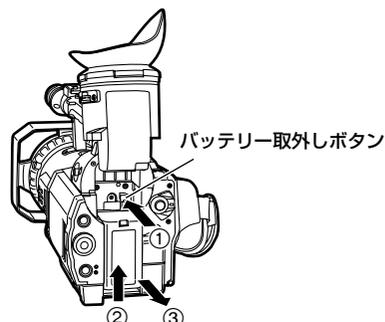
AC アダプターは、自動で全世界の電源電圧 (100V、120V、220V、240V)、電源周波数 (50Hz、60Hz) に切り替わるように設計されています。

ただし、国によって電源コンセントの形状は異なります。その国に合ったプラグを準備してください。変換プラグはお買い上げの販売店にご相談のうえ、お求めください。

バッテリーを外す

バッテリー取外しボタンを押しながら、上にずらして外します。

- POWER スイッチを OFF にして、CAMERA/VCR ランプが消灯したことを確認してからバッテリーを外してください。
- バッテリーを落下させないように手で支えておいてください。



図のように正しく接続してください。

- AC アダプターからビデオカメラ本体に電源を供給しているときは、バッテリーの充電を行うことができません。

カセットテープについて

カセットテープを入れる

カセットホルダー側だけを持って、テープの出し入れを行わないでください。

カセットテープの出し入れは、安定した水平な場所に置いて行うか、カセットホルダーが開いても、安定した状態が保てるように、両手で本機を支えながら行ってください。

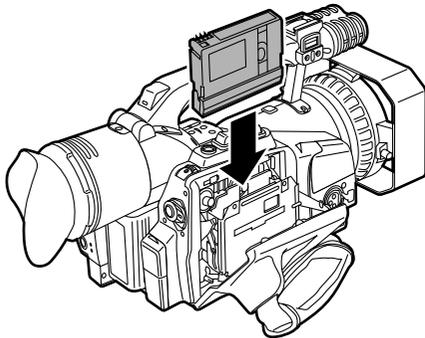
1 本機に電源（バッテリーまたは、ACアダプター）がつながっていることを確認します。

2 ロック解除ボタンを押しながら、矢印の方向に EJECT スイッチをスライドさせて、カセットホルダーを開きます。



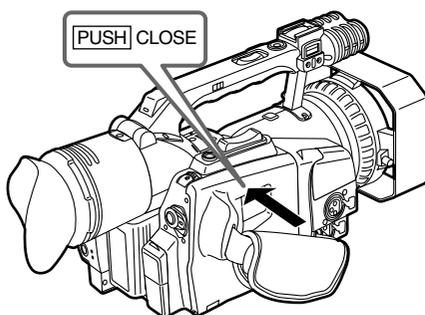
ロック解除ボタン

3 図のようにカセットテープを挿入します。



4 [PUSH] CLOSE が表示されている部分を押し、カセットホルダーを確実に閉じます。

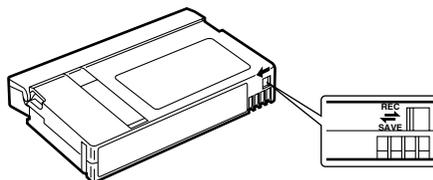
- カセットホルダーが開いていると、操作ができません。



- カセットテープを取り出すときも、本機に電源がつながっていることを確認して、EJECT スイッチをスライドさせてください。
- カセットテープを取りだし後すぐに、再びカセットを挿入しない場合は、カセットホルダーを閉めておいてください。
- 記録中は、この操作を行わないでください。カセットホルダーは開きますが、記録を継続していますので、外部の光やホコリがテープに悪影響を及ぼします。

誤消去を防ぐには

テープの記録内容を誤って消してしまうのを防ぐには、カセットのツメを「SAVE」側にします。

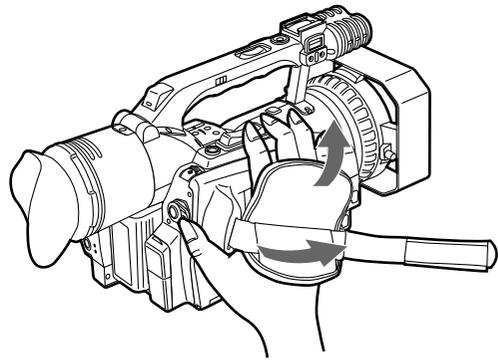


- 本機では、下記のミニ DV カセットテープの使用を推奨しています。
AY-DVM30 (SP モードで 30 分)
AY-DVM60 (SP モードで 60 分)
 - 80 分用のミニ DV カセットテープは使用しないでください。
- LP モードで撮っても画質は悪くなりませんが、モザイク状のノイズなどが出たり、機能が制限される場合があります。次のようなときにモザイク状のノイズが出たり、正常な再生ができない場合があります。
 - 本機で LP モードで撮影したテープを、他のデジタルビデオ機器で再生する場合
 - 他のデジタルビデオ機器で LP モードで撮影したテープを、本機で再生する場合
 - 本機で LP モードで撮影したテープを、LP モードがないデジタルビデオ機器で再生する場合
 - スロー／コマ送り再生をしている場合
 - カメラサーチ機能を使用している場合
- LP モードではテープ上のトラック幅がヘッド幅より狭いため、アフレコはできません。

グリップベルトの調節

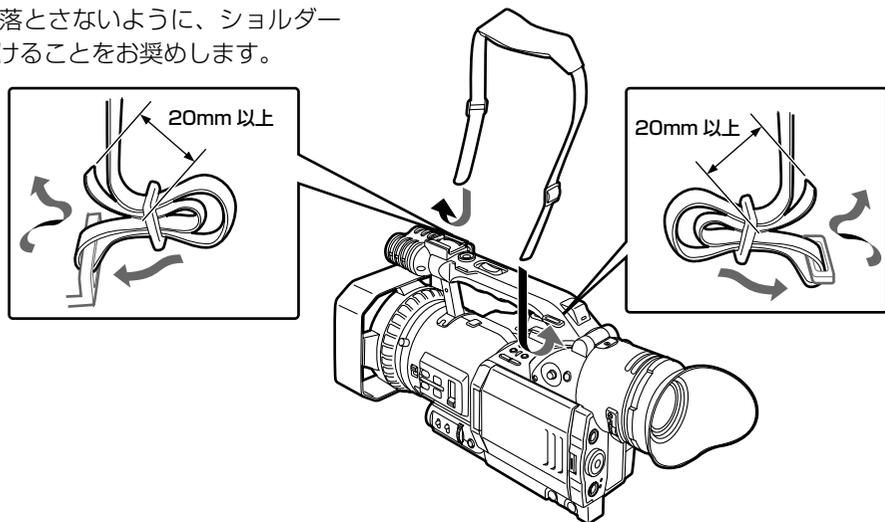
グリップベルトを手の大きさに合わせて調節してください。

- 1 カバーを開き、ベルトの長さを調節します。
- 2 カバーを元に戻します。
 - しっかりとカバーを密着させてください。



ショルダーベルトの取り付け

ビデオカメラを落とさないように、ショルダーベルトを取り付けることをお勧めします。



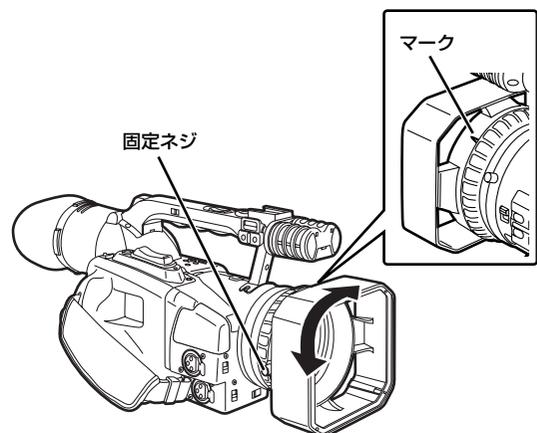
レンズフードの取り付け

レンズフードを外す

- 固定ネジをゆるめ、反時計方向にレンズフードを回して外します。

レンズフードを取り付ける

- レンズフードのマークを天面にして、レンズにはめ込みます。
- 時計方向にレンズフードを回して、固定ネジで固定します。



ファインダーについて

本機のファインダーには、小型の LCD を採用したビューファインダーと、3.5 インチの液晶モニターがあります。

用途や撮影条件に合わせて、使い分けてください。

- ビューファインダーや液晶モニターの映像と、モニターテレビの映像とは、明るさや色合いが違う場合があります。最終的な映像は、モニターテレビで確認してください。

ビューファインダーを使う

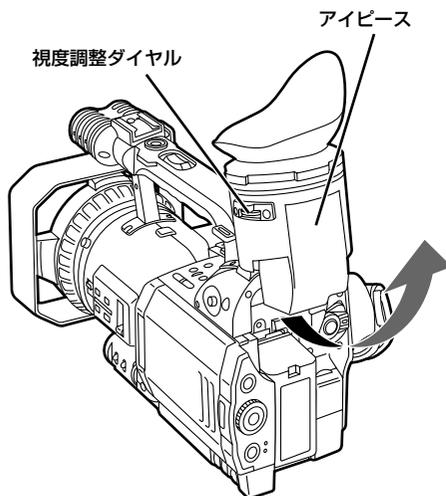
1 本機の POWER スイッチを ON にし、ビューファインダーに映像が映っていることを確認します。

- 液晶モニターは閉じたままにしてください。

2 ビューファインダーの画面が、一番見やすい位置にします。

- ビューファインダーは、約 90° まで垂直に起こすことができます。

3 視度調整ダイヤルで、ファインダー画面の文字がはっきり見えるように調整します。



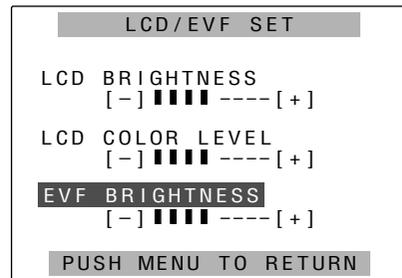
ビューファインダーのアイピースは、太陽に向けしないでください。内部の部品が破損するおそれがあります。

4 設定メニュー DISPLAY SETUP 画面の LCD/EVF SET 項目で YES を選択します。

- メニューの操作は、40 ページを参照してください。

5 EVF BRIGHTNESS 項目を選択し、OPERATION レバーを ▲ 方向や ▼ 方向に倒して、画面の明るさを調整します。

(リモコンの場合は、SET ボタンの [▶] ボタンを押します。)



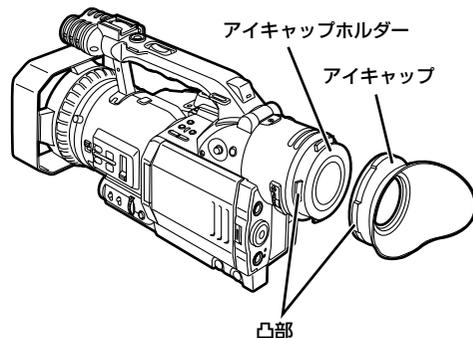
6 MENU ボタンを 3 度押して、メニューモードを解除します。

設定メニュー DISPLAY SETUP 画面の EVF MODE 項目で ON を選択すると、液晶モニターを開いても、常にビューファインダーに映像を表示します。

アイキャップの取り付け

アイキャップを取り付けるときは、アイキャップホルダーとアイキャップの凸部どうしを合わせて取り付けてください。

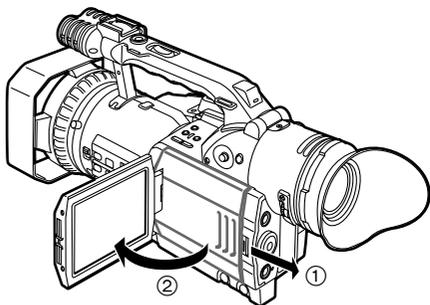
- 取り付け後にアイキャップを回すと、アイキャップホルダーが外れることがあります。アイキャップホルダーが外れたときは、「ビューファインダーのお手入れ」(67 ページ)を参照して取り付けてください。



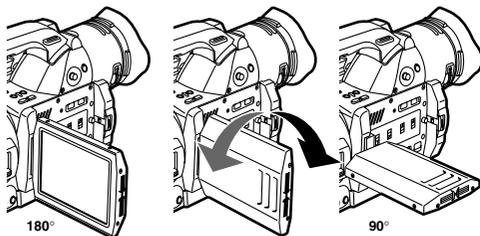
ファインダーについて

液晶モニターを使う

- 1 本機の POWER スイッチを ON にします。
- 2 OPEN ボタンを矢印 ① の方向に押し、液晶モニターを開きます。

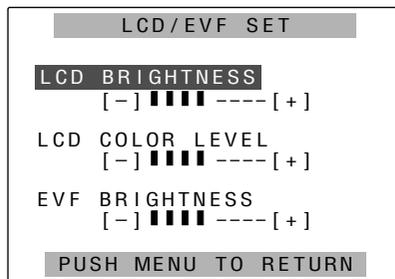


- 3 液晶モニターの画面が、一番見やすい位置にします。
 - レンズ方向に 180°、手前方向に 90° まで回転します。それ以上に無理な力で回したり、90° 回転した状態で閉じると、本機の故障につながります。

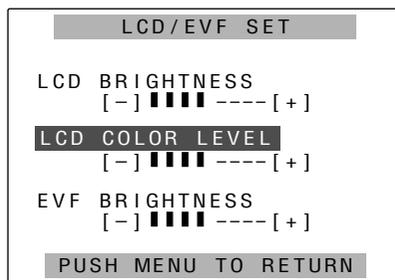


- 4 設定メニュー DISPLAY SETUP 画面の LCD/EVF SET 項目で YES を選択します。
 - メニューの操作は、40 ページを参照してください。

- 5 LCD BRIGHTNESS 項目を選択し、OPERATION レバーを ▲ 方向や ▼ 方向に倒して、画面の明るさを調整します。(リモコンの場合は、SET ボタンの [▶] ボタンを押します。)



- 6 LCD COLOR LEVEL 項目を選択し、OPERATION レバーを ▲ 方向や ▼ 方向に倒して、画面の色濃度を調整します。(リモコンの場合は、SET ボタンの [▶] ボタンを押します。)



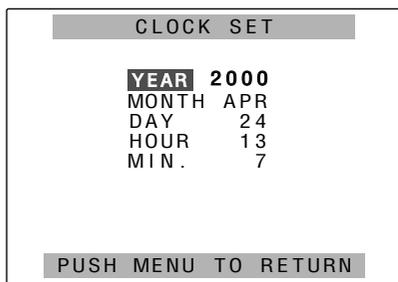
- 7 MENU ボタンを 3 度押し、メニューモードを解除します。

- 液晶モニターを閉じるときは、確実に閉じてください。
- 液晶モニターをレンズ方向へ回転させたとき（対面撮影時）は、ビューファインダーと液晶モニターが同時に点灯します。

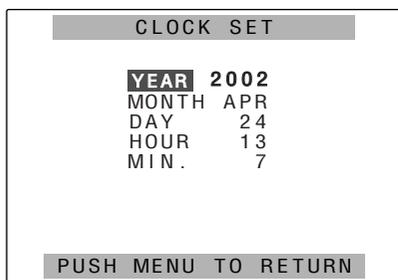
カレンダーを合わせる

カレンダーを2002年12月7日午後5時20分に設定する手順を示します。

- 1 本機のPOWERスイッチをONにします。
- 2 設定メニュー OTHER FUNCTIONS 画面のCLOCK SET 項目でYESを選択します。
 - メニューの操作は、40 ページを参照してください。

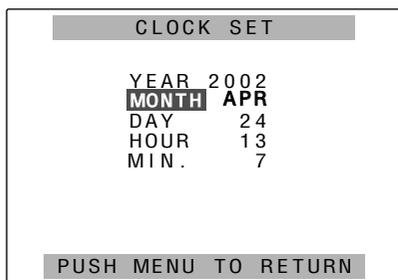


- 3 OPERATION レバーを▲方向や▼方向に倒して、YEARを2002にします。(リモコンの場合は、SET ボタンの[▶] ボタンを押します。)

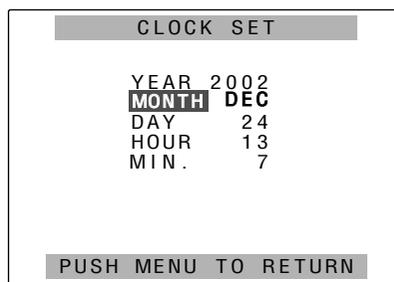


2000 から 2089 まで設定できます。

- 4 OPERATION レバー (||) を押して、設定項目をMONTHに移動します。(リモコンの場合は、SET ボタンの[▼] ボタンを押します。)

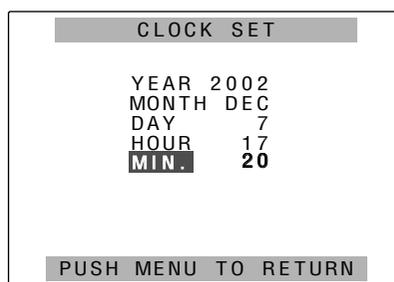


- 5 OPERATION レバーを▲方向や▼方向に倒して、MONTHをDECにします。(リモコンの場合は、SET ボタンの[▶] ボタンを押します。)



- 6 同様に、OPERATION レバー (||) を押して、設定項目をDAY・HOUR・MINに移動します。(リモコンの場合は、SET ボタンの[▼] ボタンを押します。)

- 7 同様に、OPERATION レバーを▲方向や▼方向に倒して、7・17・20をにします。(リモコンの場合は、SET ボタンの[▶] ボタンを押します。)



HOURは、24時間表示です。

- 8 MENU ボタンを3度押して、メニューモードを解除します。

時刻には誤差が生じますので、撮影前に時間が合っているか確認してください。

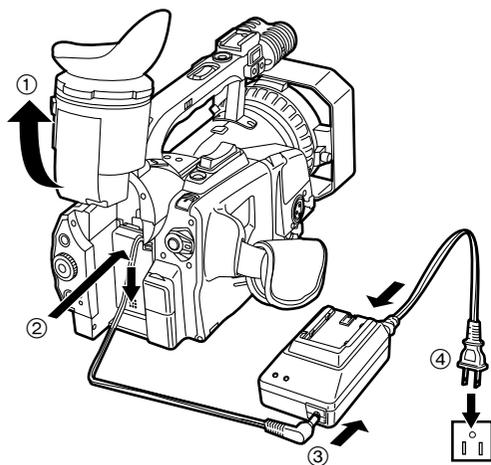
内蔵電池の充電

年月日、時刻は、内蔵電池を使って記憶させています。ビューファインダーや液晶モニターの画面に [電池] の表示が出るときは、内蔵電池が消耗しています。

以下の方法で充電してください。

充電完了後、日時を設定してください。

1 本機に AC アダプターを接続します。



2 ビューファインダーを元の位置に戻します。

3 本機の POWER スイッチは、**OFF** のままにします。

4 約 4 時間、そのままの状態にしておきます。
• 内蔵電池が充電されます。

電子シャッターの設定

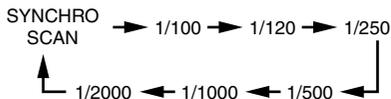
設定できるシャッタースピード

プログレッシブモード	標準 (OFF) のシャッタースピード	SPEED SEL ボタンで選択できるシャッタースピード	
		SYNCHRO SCAN	設定されているシャッタースピード
OFF (60i)	1/60	1/60.3...1/250	1/100, 1/120, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/2000
30P	1/50	1/30.1...1/250.0	1/30, 1/60, 1/120, 1/250, 1/500, 1/1000
24P/24PA	1/50	1/24.1...1/250.0	1/24, 1/60, 1/120, 1/250, 1/500, 1/1000

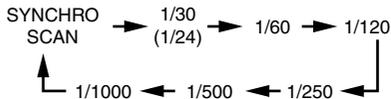
1 SHUTTER ボタンを押す毎に、標準 (OFF) のシャッタースピードと、SPEED SEL ボタンで選択したシャッタースピードが切り替わります。

2 SHUTTER ボタン押した後に SPEED SEL ボタンを押して、シャッタースピードを選択します。
SPEED SEL ボタンを押す毎に、下記のようにシャッタースピードが変化していきます。

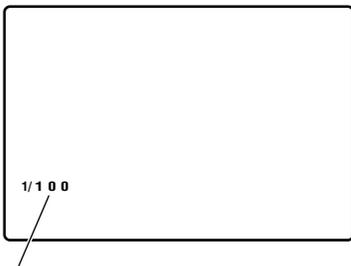
プログレッシブモードが OFF (60i) のとき



プログレッシブモードのとき (30P/24P/24PA)



- シャッタースピードが速いほど、カメラの感度は低減します。
- 絞りが自動のときには、シャッタースピードが速くなるにつれ絞りが開き、焦点深度も浅くなります。



設定メニュー DISPLAY SETUP 画面の OTHER DISPLAY 項目で OFF 以外に設定しているときは、ビューファインダーや液晶モニターの画面に、現在設定されているシャッタースピードが表示されます。ただし、標準 (OFF) のシャッタースピードに設定されているときは表示されません。

人工照明、特に蛍光灯や水銀灯などは、電源周波数に同期して輝度に変化しています。特に電源周波数が 50Hz の地域では、本機の垂直同期周波数 (約 60Hz) と照明の周波数 (50Hz) が互いに干渉するため、ホワイトバランスが周期的に変化することがあります。

人工照明下で撮影するときやホワイトバランスを調整するときは、シャッタースピードを下記の設定にして行ってください。

プログレッシブモード	シャッタースピード	
	50 Hz	60 Hz
OFF (60i)	1/100	OFF (1/60)
30P	OFF (1/50)	1/60
24P/24PA	OFF (1/50)	1/60

シンクロスキャン

テレビ画面やパソコンのモニター画面を撮影するときなどに使用するシンクロスキャンのシャッタースピードは、設定メニュー CAMERA SETUP 画面の SYNCHRO SCAN 項目で設定します。(43 ページ参照)

- テレビ画面やパソコンのモニター画面の周波数に合わせて、シャッタースピードを調整すると、テレビ画面を撮影したときの発生する水平方向のノイズを最小限にして、撮影することができます。
- プログレッシブモードにすると、PAL 方式で再生しているテレビ画面を、撮影することもできます。

ホワイトバランス／ブラックバランス

ホワイトバランスの調整

ホワイトバランスは、照明条件が変わったときには、必ず調整し直して下さい。

ホワイトバランスの調整値は、WHITE BAL スイッチの A と B の位置にメモリーすることができます。

撮影条件に合わせて、メモリーを使い分けてください。

また、WHITE BAL スイッチの PRESET の位置には、3200K と 5600K のホワイトバランス値をメモリーしています。

WHITE BAL スイッチが PRESET の位置のときに AWB ボタンを押すと、現在のホワイトバランス値が表示されます。

再度 AWB ボタンを押すと、3200K と 5600K のホワイトバランス値が交互に切り替わります。

ホワイトバランスを調整する時間がないときなど、撮影条件に合わせて使い分けてください。

ホワイトバランスの調整方法

- 1 シャッタースピードを設定します。
- 2 被写体の照明光源と同じ条件のところにホワイトパターンを置き、ズームアップして画面全体に白を写します。
被写体近くの白い物（白布、白壁）を代用することもできます。
 - 画面内に高輝度スポットを入れないようにしてください。
- 3 WHITE BAL スイッチを A または、B の位置にして、メモリーすることができます。
ホワイトバランスの調整値をメモリーする位置（WHITE BAL スイッチの A または、B）にして、AWB ボタンを押します。
 - 数秒で調整が完了します。
(図のようなメッセージが表示されます。)

調整中のメッセージ

AWB Ach ACTIVE

調整終了時のメッセージ

AWB Ach OK

ホワイトバランスの自動調整ができていないときは、ビューファインダーや液晶モニターの画面にエラーメッセージを表示します。

- ATW (Auto Tracking White) 自動追尾式
ホワイト機能が動作しているときは、ホワイトバランスの自動調整ができません。

調整できないときのメッセージ

AWB Ach NG

エラーメッセージ	処置方法
LOW LIGHT	光量を多くする。 または、ゲインを上げる。
LEVEL OVER	光量を少なくする。 または、ゲインを下げる。

上記のエラーメッセージが表示された場合、処置を行ってから再度ホワイトバランスの調整を試みてください。
繰り返し試みてもエラーメッセージが表示される場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

ホワイトバランス／ブラックバランス

ブラックバランスの調整

ブラックバランスは、通常、調整し直す必要はありませんが、次のような場合に調整が必要です。

- 本機を初めて使用するとき
- 長時間使用しなかった後に使用するとき
- 周囲の温度が大幅に変化した状態で使用するとき
- プログレッシブモードと標準（60i）モードを切り替えたとき

標準（60i）モードのとき

AWB ボタンを押すと、ホワイトバランスを自動調整します。

更にこのボタンを押し続けると、ブラックバランスの調整を行います。

プログレッシブモードのとき

AWB ボタンを押すだけで、ホワイトバランスを自動調整した後、続けてブラックバランスの調整を行います。

- AWB ボタンを押すと、まず、ホワイトバランスを調整しますので、ホワイトバランスを調整する条件を整えてから行ってください。
- 記録中は、ブラックバランスの調整を行うことができません。

ABB ACTIVE

調整中のメッセージ

ABB END

調整終了時のメッセージ

ATW（Auto Tracking White） 自動追尾式ホワイト機能

設定メニュー SW MODE 画面の ATW 項目では、WHITE BAL スイッチ（A/B/PRST の何れかのポジション）に ATW 機能を割り当てることができます。（43 ページ参照）

また、AUTO SW 画面の ATW 項目では、AUTO ボタンに ATW 機能を割り当てることができます。（44 ページ参照）

ATW 機能を使用して撮影を行うと、常にホワイトバランスを自動的に調整しながら記録を行います。

- ATW 機能は、撮影環境を自動的に判定して、最適なホワイトバランスに調整する機能です。環境によっては、多少の調整誤差が発生することがあります。高精度なホワイトバランス調整が必要な場合は、前ページのホワイトバランス調整を行ってください。

タイムデータの設定

ユーザズビットの設定

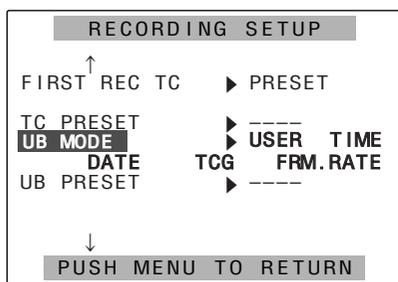
ユーザズビットを設定することにより、16進数 8 桁までのメモ（日付、時刻）などの情報をサブコードトラックに記録できます。

ユーザズビットの設定内容は、自動的にメモリーされ、電源を切った後も保持されます。

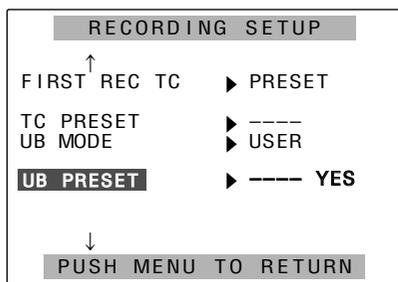
1 本機の POWER スイッチを ON にします。

2 設定メニュー RECORDING SETUP 画面の UB MODE 項目で USER を選択します。

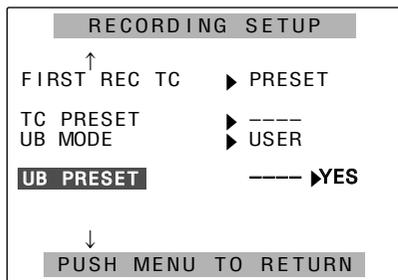
- メニューの操作は、40 ページを参照してください。



3 OPERATION レバーを ▼ 方向に倒して、UB PRESET 項目に移動します。



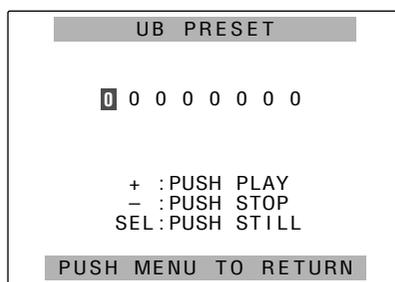
4 OPERATION レバー (||) を押して、[▶] を YES に移動します。



5 下記の画面が表示されますので、OPERATION レバーでユーザズビットを設定します。

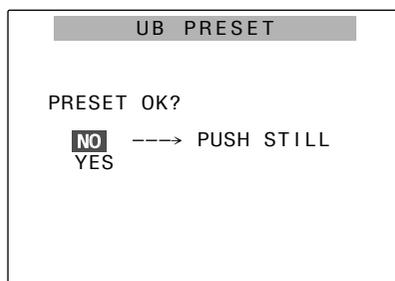
OPERATION レバーを、▲ 方向や ▼ 方向に倒して、ユーザズビットの文字を選択し、OPERATION レバー (||) を押して次の桁に移動します。

- 設定できるユーザズビットの文字は、数字の 0～9 とアルファベットの A～F です。
- 下記の画面で COUNTER RESET ボタンを押すと、ユーザズビットをゼロにリセットします。



6 ユーザズビットの設定が完了すると、MENU ボタンを押します。

下記の画面が表示されますので、OPERATION レバーを ▼ 方向に倒して、YES を選択して OPERATION レバー (||) を押します。



7 MENU ボタンを 2 度押して、メニューモードを解除します。

タイムデータの設定

タイムコードの設定

設定メニュー RECORDING SETUP 画面の下記の項目で、タイムコードに関わる各種の設定を行います。

- TC MODE 項目
- TCG 項目
- FIRST REC TC 項目
- TC PRESET 項目
- 1394 TC REGEN 項目 (VCR モードのときにメニュー項目が表示されます)

詳しくは、46 ページを参照してください。

- VCR モードのときは、1394 TC REGEN 項目が ON に設定されていると、上記に示す項目の設定を変更することができません

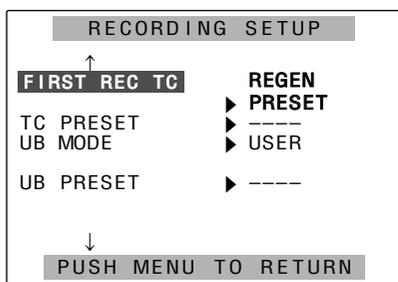
TC PRESET 項目の設定方法

記録開始時のタイムコードを、ユーザーが指定する値を初期値として記録する場合、TC PRESET 項目でタイムコード値を設定します。

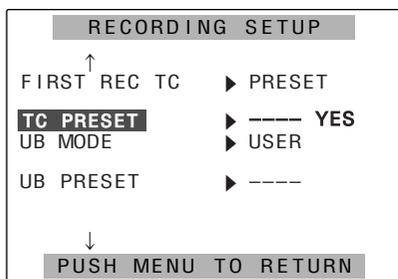
1 本機の POWER スイッチを ON にします。

2 設定メニュー RECORDING SETUP 画面の FIRST REC TC 項目で PRESET を選択します。

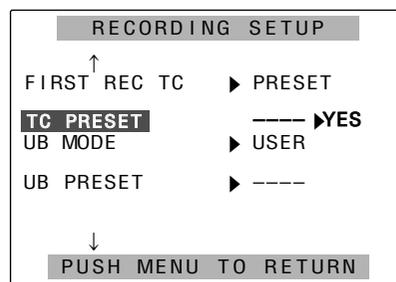
- メニューの操作は、40 ページを参照してください。



3 OPERATION レバーを ▼ 方向に倒して、TC PRESET 項目に移動します。



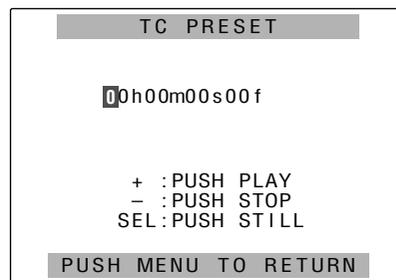
4 OPERATION レバー (II) を押して、[▶] を YES に移動します。



5 下記の画面が表示されますので、OPERATION レバーでタイムコード値を設定します。

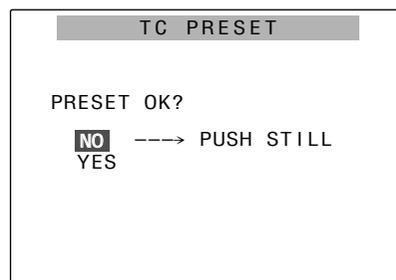
OPERATION レバーを、▲ 方向や ▼ 方向に倒して、タイムコード値を選択し、OPERATION レバー (III) を押して次の桁に移動します。

- 下記の画面で COUNTER RESET ボタンを押すと、タイムコード値をゼロにリセットします。



6 タイムコード値の設定が完了すると、MENU ボタンを押します。

下記の画面が表示されますので、OPERATION レバーを ▼ 方向に倒して、YES を選択して OPERATION レバー (II) を押します。



7 MENU ボタンを 2 度押して、メニューモードを解除します。

シーンファイル

各種撮影状況に応じた設定を、シーンファイルダイヤルの各ポジションに保存しています。撮影時、シーンファイルダイヤルで瞬時に必要なファイルが読み出せます。

工場出荷時の設定では、次のファイルが保存されています。

- 記録中にシーンファイルを変更しても、プログレッシブモードは、変更されません。プログレッシブモードを変更する場合は、記録待機状態にしてください。

F1 : SCENE

標準の撮影に適したファイル。

F2 : SCENE FLOU.

蛍光灯の特性を考慮した撮影（屋内撮影などの撮影）に適したファイル。

F3 : SCENE SPARK

被写体にメリハリをつけた撮影（披露宴などの撮影）に適したファイル。

F4 : SCENE B-STR

暗い部分の階調を広げた撮影（夕暮れなどの撮影）に適したファイル。

F5 : SCENE 24P

プログレッシブ 24P モードの撮影に適したファイル。

F6 : SCENE ADVANC

プログレッシブ 24P アドバンスモードのファイル。

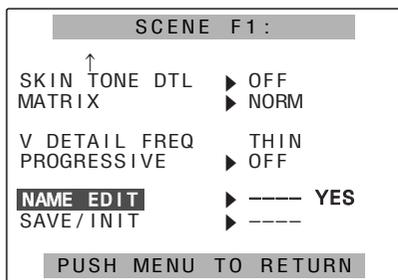
シーンファイル

シーンファイルの設定変更

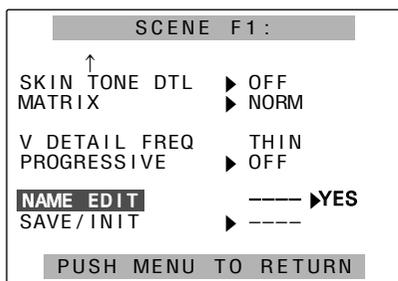
シーンファイルの設定値は、変更することもできます。

また、変更したシーンファイルを、シーンファイルダイヤルの各ポジションに保存することもできます。

- 1 本機の POWER スイッチを ON にします。
- 2 シーンファイルダイヤルを回して、変更するシーンファイルを選択します。
- 3 設定メニュー SCENE FILE 画面の項目を変更します。
 - メニューの操作は、40 ページを参照してください。
- 4 OPERATION レバーを ▼ 方向に倒して、NAME EDIT 項目に移動します。

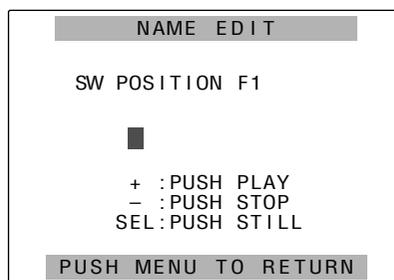


- 5 OPERATION レバー (II) を押して、[▶] を YES に移動します。

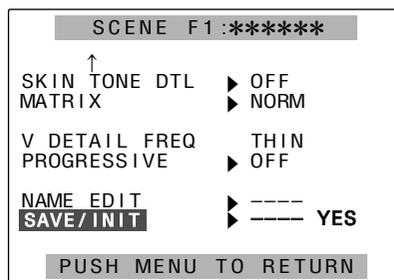


- 6 下記の画面が表示されますので、OPERATION レバーで6文字のファイル名を設定します。

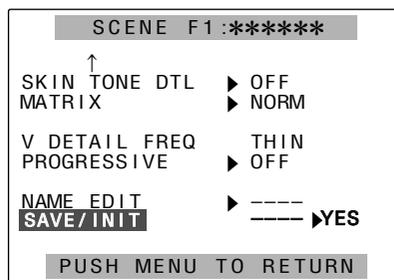
- 設定できる文字
□ (スペース) A~Z 0~9 : ; < =>
? @ [¥] ^ _



- 7 ファイル名の設定が完了すると、MENU ボタンを押します。
- 8 OPERATION レバーを ▼ 方向に倒して、SAVE/INIT 項目に移動します。

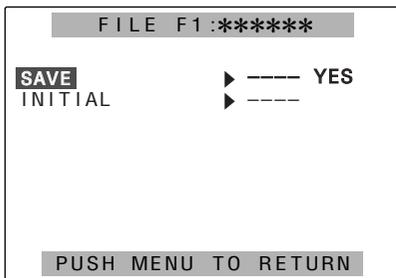


- 9 OPERATION レバー (II) を押して、[▶] を YES に移動します。



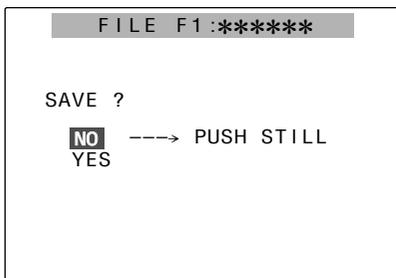
シーンファイル

10 下記の画面が表示されますので、OPERATIONレバー (II) を押して、[▶] を YES に移動します。



シーンファイルの設定値を工場出荷時の設定に戻す場合は、ステップ **10** で **INITIAL** を選択して、ステップ **11** ~ **13** を同様に行います。

11 下記の画面が表示されますので、OPERATIONレバーを ▼ 方向に倒して、YES を選択して OPERATIONレバー (II) を押します。



12 ビープ音が連続 10 回鳴り、下記のメッセージが表示され、シーンファイルの変更が完了します。



13 MENU ボタンを 3 度押して、メニューモードを解除します。

SAVE を行わないで、メニューモードを解除した場合、VCR モードに切り替えたときや電源を OFF にしたときは、シーンファイルの設定値が、元に戻ります。

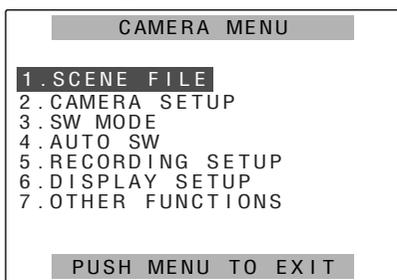
設定メニュー

撮影シーンや記録内容に合わせて、本機の設定を設定メニューで変更することができます。

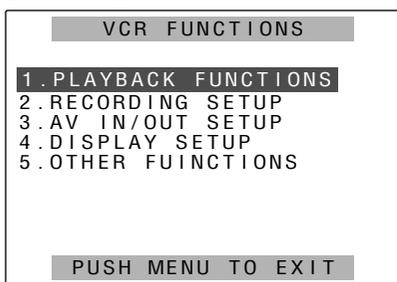
操作方法

- 1 撮影や記録以外の動作モードのときに、MENU ボタンを押します。
メニューモードになり下記の機能画面が、ビューファインダーや液晶モニターに表示されます。

[カメラモード]



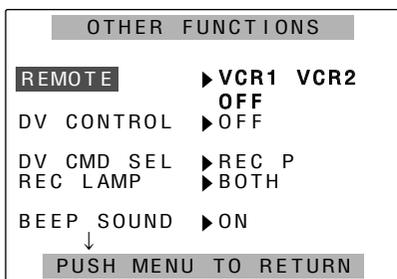
[VCRモード]



- 2 OPERATION レバーを、▲ 方向や ▼ 方向に倒して、設定したい機能に反転表示している部分を移動します。
(リモコンの場合は、SET ボタンの [▲] [▼] ボタンを押します。)

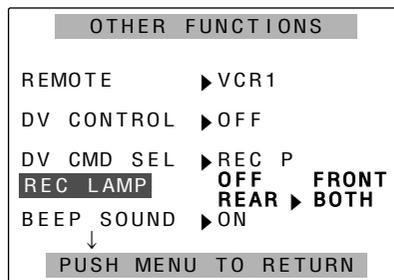
- 3 OPERATION レバー (II) を押して、設定項目を表示します。
(リモコンの場合は、SET ボタンの [▶] ボタンを押します。)

例：



- 4 OPERATION レバーを、▲ 方向や ▼ 方向に倒して、設定したい項目に反転表示している部分を移動します。
(リモコンの場合は、SET ボタンの [▲] [▼] ボタンを押します。)

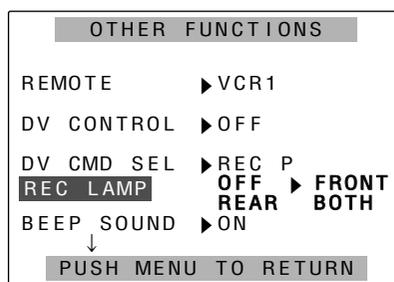
例：



- 5 OPERATION レバー (III) を押して、[▶] を変更したい設定値に移動します。
(リモコンの場合は、SET ボタンの [▶] ボタンを押します。)

数値などを変更するときは、変更する数値の位置に [▶] を移動し、OPERATION レバーを ▲ 方向や ▼ 方向に倒して、設定値を変更します。
(リモコンの場合は、SET ボタンの [▲] [▼] ボタンを押します。)

例：



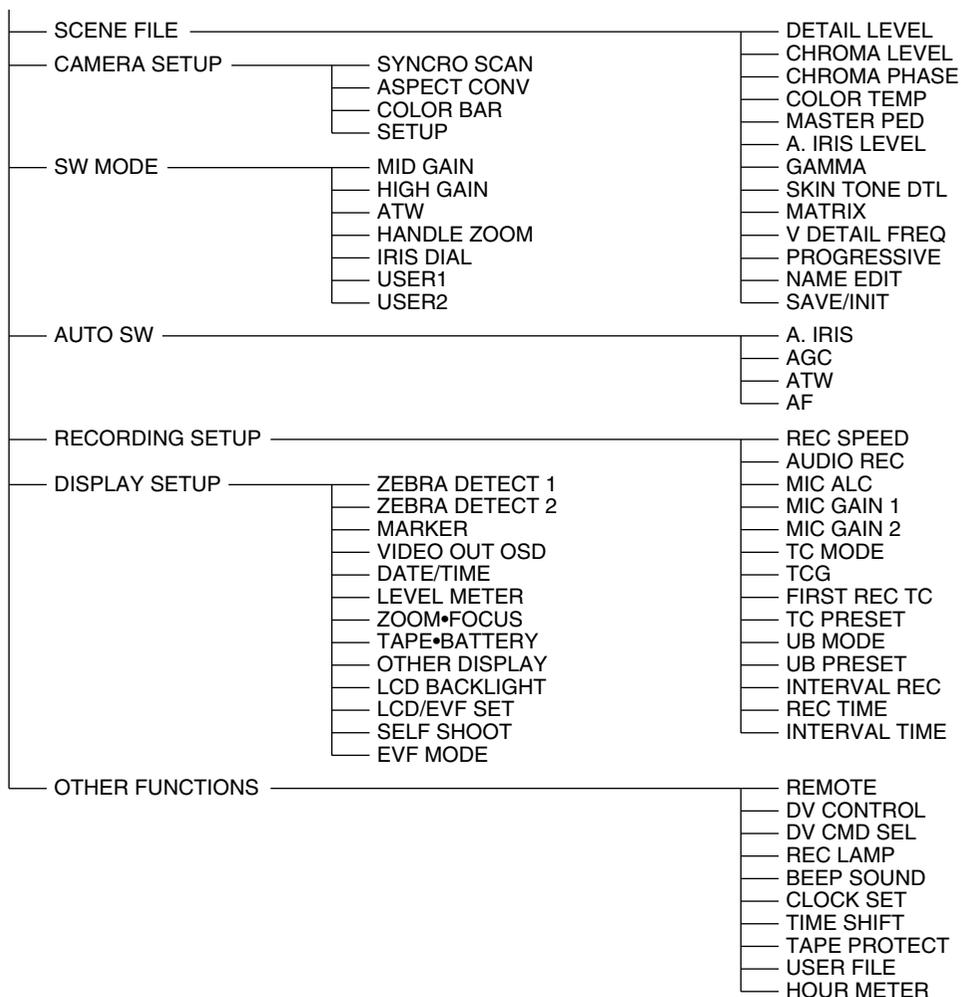
- 6 他の項目を変更する場合は、4 と 5 を繰り返します。
設定を終了する場合は、MENU ボタンを押して、機能画面に戻ります。

- 7 他の機能を変更する場合は、2 ~ 5 を繰り返します。
メニューモードを終了する場合は、再度 MENU ボタンを押して、通常画面に戻ります。

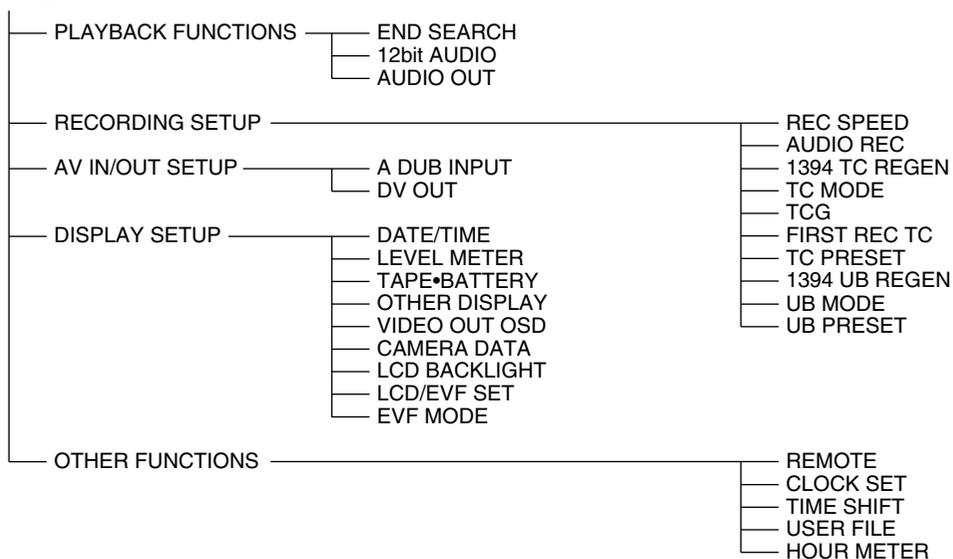
設定メニュー

設定メニューの構成

CAMERA モードのメニュー



VCR モードのメニュー



SCENE FILE 画面

項目/ (表示モード)	設定内容
DETAIL LEVEL (カメラ)	ディテール量の調整を行います。 -7...0...+7
CHROMA LEVEL (カメラ)	クロマレベルの調整を行います。 -7...0...+7
CHROMA PHASE (カメラ)	クロマ位相の微調整を行います。 -7...0...+7
COLOR TEMP (カメラ)	色温度の微調整 (ホワイトバランス調整を行った後の微調整) を行います。 -7...0...+7
MASTER PED (カメラ)	映像の基準とする黒のマスターペダスタルの調整を行います。 -15...0...+15
A. IRIS LEVEL (カメラ)	AUTO IRIS 目標値の設定を行います。 -4...0...+4
GAMMA (カメラ)	ガンマカーブを選択します。 CINE-LIKE : 映画感覚の映像に仕上げるガンマカーブを使用します。 CINE-LIKE ガンマの特長を十分に生かすために、レンズ絞りは通常の映像レベルより低く (約 1/2) することをお奨めします。 LOW : 低輝度部の傾きが穏やかなガンマカーブを使用して、落ち着いた映像にします。コントラストは、シャープな感覚になります。 NORM : 標準の映像にします。 HIGH : 低輝度部の傾きが急なガンマカーブを使用して、暗い部分の階調を広げて明るい感覚の映像にします。コントラストは、ソフトな感覚になります。
SKIN TONE DTL (カメラ)	肌色ディテールの ON/OFF を切り替えます。 ON にすると、肌色部分のディテールが減少し、肌のざらざら感を少なくします。 OFF ON
MATRIX (カメラ)	マトリックステーブルを選択して、撮影時の色を表現します。 NORM : 屋外やハロゲンランプの光源で撮影を行うときに適した色を表現します。 FLOU : 蛍光灯下の屋内で撮影を行うときに適した色を表現します。 CINE-LIKE : 映画感覚の撮影を行うときに適した色を表現します。

項目/ (表示モード)	設定内容
V DETAIL FREQ (カメラ)	プログレッシブモードで撮影するときの、垂直方向のディテールを設定します。 THIN : ディテールを細くします。 THICK : ディテールを太くします。 ● 「THIN」 に設定してプログレッシブモードで撮影した映像を、通常のモニターテレビ (60i : インターレース) で再生した場合、水平の線や水平に近い斜めの線に、ちらつき感が生じます。 プログレッシブの環境で再生するときは、「THIN」 に設定することで、ちらつき感が軽減され、「THICK」 に設定したときよりも高解像度の映像が得られます。
PROGRESSIVE (カメラ)	プログレッシブモード撮影の設定を行います。 OFF : プログレッシブモードの撮影を行いません。 30P : 30P モード (30 フレーム/秒) で撮影を行います。 24P : 24P モード (24 フレーム/秒) で撮影を行います。 テープには、[2 : 3] 変換方式で記録します。 24P(ADV) : 24P アドバンスモード (24 フレーム/秒) で撮影を行います。 テープには、アドバンス変換方式で記録します。
NAME EDIT (カメラ)	シーンファイルダイヤルで選択されているシーンファイルの、ファイル名を編集します。
SAVE/INIT (カメラ)	SAVE : 変更したシーンファイルの設定値を、保存します。 ● SAVE を行わないで、メニューモードを解除した場合、VCR モードに切り替えたときや電源を OFF にしたときは、シーンファイルの設定値が、元に戻ります。 INITIAL : シーンファイルダイヤルで選択されている、シーンファイルの設定値を工場出荷時の状態に戻します。

設定メニュー

CAMERA SETUP 画面

項目/ (表示モード)	設定内容
SYNCRO SCAN (カメラ)	テレビ画面を撮影するときなどに使用するシンクロスキャンシャッタースピードの調整を行います。 OPERATION レバーを、▲ 方向や ▼ 方向に倒したままにすると、設定値が変わるスピードが速くなり、ピーブ音が鳴ります。 ● プログレッシブモード OFF : 1/60.3 … 1/250.0 ● プログレッシブモード 30P : 1/30.1 … 1/48.0 … 1/250.0 ● プログレッシブモード 24P/24PA : 1/24.1 … 1/48.0 … 1/250.0
ASPECT CONV (カメラ)	記録する映像のアスペクト比を選択します。 NORM : 標準の 4 : 3 モードで記録します。 LETTER BOX : 画角を 16 : 9 モードにして記録します。画面の上下に黒い帯が記録されます。
COLOR BAR (カメラ)	カラーバー表示の ON/OFF を切り替えます。(プログレッシブモードではカラーバーが表示されません。) OFF ON ● カラーバー表示を ON に設定しても、VCR モードに切り替えたときや電源を OFF にしたときは、カラーバー表示が OFF に戻ります。
SETUP (カメラ)	セットアップレベル (黒レベル) の付加を設定します。 0% : セットアップレベルを付加しません。 7.5% : 7.5%のセットアップレベルを付加して記録します。

SW MODE 画面

項目/ (表示モード)	設定内容
MID GAIN (カメラ)	GAIN スイッチの M 位置に割り当てる、ゲイン値を設定します。 0dB、3dB、 <u>6dB</u> 、9dB、12dB
HIGH GAIN (カメラ)	GAIN スイッチの H 位置に割り当てる、ゲイン値を設定します。 0dB、3dB、6dB、9dB、 <u>12dB</u>
ATW (カメラ)	WHITE BAL スイッチに割り当てる、ATW (自動追尾式のホワイトバランス) 機能の動作を設定します。 OFF : ATW 機能を動作させません。ただし、AUTO ボタンや USER ボタンに ATW 機能が設定されている場合は、そのボタンの動作に従います。 Ach : WHITE BAL スイッチを A の位置に切り替えたときに、ATW 機能を動作させます。 Bch : WHITE BAL スイッチを B の位置に切り替えたときに、ATW 機能を動作させます。 PRE : WHITE BAL スイッチを PRST の位置に切り替えたときに、ATW 機能を動作させます。
HANDLE ZOOM (カメラ)	HANDLE ZOOM スイッチの各位置に割り当てる、ズームスピードを設定します。 L/OFF/H : 1/2/3 の各位置に、LOW (低速) /OFF/HIGH (高速) を設定します。(OFF は、ズーム動作を行いません。) L/M/H : 1/2/3 の各位置に、LOW/MID (中速) /HIGH を設定します。
IRIS DIAL (カメラ)	IRIS ダイアルの回転方向と絞り制御を設定します。(MANUAL IRIS モード時) DOWN OPEN : IRIS ダイアルを下方向に回したときに、絞りが開きます。 UP OPEN : IRIS ダイアルを上方向に回したときに、絞りが開きます。

_____ は、工場出荷モードです。

SW MODE 画面

項目/ (表示モード)	設定内容
USER1 (カメラ)	<p>USER1 ボタンに割り当てる、機能の動作を設定します。</p> <p>COLOR BAR : カラーバー表示の ON/OFF を切り替えます。</p> <p>SPOTLIGHT : スポットライト用のオートアイリス制御の ON/OFF を切り替えます。</p> <p>BACKLIGHT : 逆光補正用のオートアイリス制御の ON/OFF を切り替えます。</p> <p>BLACKFADE : ボタンを押し続けると、映像全体を黒でフェードアウトします。このとき音声も同様にフェードアウトされます。</p> <p>WHITEFADE : ボタンを押し続けると、映像全体を白でフェードアウトします。このとき音声も同様にフェードアウトされます。</p> <p>MODECHECK : ボタンを押すと、現在設定されているカメラの状態が、ビューファインダーや液晶モニターに表示され確認できます。</p> <p>ATW : ATW 機能動作の ON/OFF を切り替えます。</p> <p>ATWLOCK : ボタンを押すと、ホワイトバランスの値を固定します。再度押すと、ATW 機能動作を行います。</p> <p>GAIN:18 dB : ボタンを押すと、ゲイン値を 18dB に設定します。 ● ゲイン値を 18dB に切り替えたときや、18dB から他のゲイン値に切り替えたときは、画像が一瞬乱れることがあります。</p>
USER2 (カメラ)	<p>USER2 ボタンに割り当てる、機能の動作を設定します。 設定内容は USER1 項目と同じです。</p> <p>BACKLIGHT</p>

AUTO SW 画面

項目/ (表示モード)	設定内容
A. IRIS (カメラ)	<p>ON : AUTO ボタンを押したときにオートアイリス制御の動作を行います。 このとき IRIS ボタンは機能しません。</p> <p>OFF : AUTO ボタンを押しても、オートアイリス制御の動作を行いません。 IRIS ボタンで選択されているアイリス制御の動作を行います。</p>
AGC (カメラ)	<p>A IRS 項目で ON が選択されたときのオートゲイン制御の動作を設定します。</p> <p>6dB : AUTO ボタンを押したときに、最大 6dB のオートゲイン制御を行います。</p> <p>12dB : AUTO ボタンを押したときに、最大 12dB のオートゲイン制御を行います。</p> <p>OFF : AUTO ボタンを押しても、オートゲイン制御を行いません。</p>
ATW (カメラ)	<p>ON : AUTO ボタンで ATW (自動追尾式のホワイトバランス) 機能動作の ON/OFF を切り替えます。 このとき WHITE BAL スイッチや USER ボタンでは、ATW 機能動作の ON/OFF を行うことができません。 ただし、USER ボタンに ATWLOCK を割り当てているときは、USER ボタンでホワイトバランスの値を固定することができます。</p> <p>OFF : AUTO ボタンを押しても、ATW 機能動作を行いません。 WHITE BAL スイッチで選択されている ATW 機能動作を行います。</p>
AF (カメラ)	<p>ON : AUTO ボタンを押したときにオートフォーカスの動作を行います。 このとき FOCUS スイッチや PUSH AUTO ボタンは機能しません。</p> <p>OFF : AUTO ボタンを押しても、オートフォーカスの動作を行いません。 FOCUS スイッチや PUSH AUTO ボタン選択されているフォーカスの動作を行います。</p>

_____ は、工場出荷モードです。

設定メニュー

PLAYBACK FUNCTIONS 画面

項目/ (表示モード)	設定内容
END SEARCH (VCR)	<p>END SEARCH ボタンを押したときの動作を設定します。</p> <p>BLANK : ビデオテープの無記録部分を検索します。</p> <p>REC END : 撮影した最後の部分を検索します。</p> <p><ノート></p> <ul style="list-style-type: none"> ● REC END に設定していても、テープを取り替えると、撮影した最後の部分を検索することができません。 ● テープに記録部分がない場合は、テープ終端で停止します。 ● テープ始端付近や途中に無記録部分ある場合、正しく動作しないことがあります。

各入力と記録される音声トラック

入力	撮影時	アフレコ時 (12bit モード)
内蔵マイク L	CH1	CH3
内蔵マイク R	CH2	CH4
INPUT 1 (XLR)	CH1	CH3
INPUT 2 (XLR)	CH2 (CH1)	CH4 (CH3)
AUDIO IN/OUT CH1 (ピンジャック)	—	CH3
AUDIO IN/OUT CH2 (ピンジャック)	—	CH4

撮影時に記録する音声トラックは、CH1 SELECT スイッチと CH2 SELECT スイッチで変更可能です。
アフレコ時に記録する音声トラックは、AV IN/OUT SETUP 画面の A DUB INPUT 項目で変更可能です。

項目/ (表示モード)	設定内容
12bit AUDIO (VCR)	<p>12bit 音声モードで記録されたテープを再生したときに、CH1 信号と CH2 信号として出力する音声を設定します。</p> <p>ST1 : 撮影時に記録した音声を選択します。 CH1 信号 = CH1 トラック CH2 信号 = CH2 トラック</p> <p>ST2 : アフレコ記録した音声を選択します。 CH1 信号 = CH3 トラック CH2 信号 = CH4 トラック</p> <p>MIX : 撮影時に記録した音声とアフレコ記録した音声をミックスします。 CH1 信号 = CH1+CH3 トラック CH2 信号 = CH2+CH4 トラック</p> <p><ノート> 16bit 音声モードで記録されている場合、CH3 と CH4 は存在しませんので、常に CH1 信号 = CH1 トラック CH2 信号 = CH2 トラック となります。</p>
AUDIO OUT (VCR)	<p>テープを再生したときに、AUDIO IN/OUT 端子 (ピンジャック) から出力する音声信号を設定します。</p> <p>CH1・CH2 : CH1 端子 = CH1 信号 CH2 端子 = CH2 信号</p> <p>CH1 : CH1 端子 = CH1 信号 CH2 端子 = CH1 信号</p> <p>CH2 : CH1 端子 = CH2 信号 CH2 端子 = CH2 信号</p>

12 bit AUDIO 項目/AUDIO OUT 項目の設定と AUDIO IN/OUT 端子 (ピンジャック) から出力される音声トラック

音声記録モード	12 bit AUDIO 項目の設定	AUDIO OUT 項目の設定	AUDIO IN/OUT CH1 の出力	AUDIO IN/OUT CH2 の出力
12 bit	ST1	CH1・CH2 CH1 CH2	CH1 CH1 CH2	CH2 CH1 CH2
	ST2	CH1・CH2 CH1 CH2	CH3 CH3 CH4	CH4 CH3 CH4
	MIX	—	CH1+CH3	CH2+CH4
16 bit	—	CH1・CH2 CH1 CH2	CH1 CH1 CH2	CH2 CH1 CH2

— は、工場出荷モードです。

RECORDING SETUP 画面

項目/ (表示モード)	設定内容
REC SPEED (カメラ) (VCR)	記録時間モードを選択します。 SP : SP (標準) モード LP : LP (長時間) モード
AUDIO REC (カメラ) (VCR)	PCM オーディオへの記録変換方式を選択します。 12bit : 12bit/32kHz 16bit : 16bit/48kHz
MIC ALC (カメラ)	マイクレベル自動制御機能の ON/OFF を切り替えます。 OFF <u>ON</u>
MIC GAIN 1 (カメラ)	INPUT 1 端子に接続する、外部マイクの入力レベルを設定します。 -50dB -60dB
MIC GAIN 2 (カメラ)	INPUT 2 端子に接続する、外部マイクの入力レベルを設定します。 -50dB -60dB
1394 TC REGEN (VCR)	DV 端子に接続している機器の信号を記録するとき、記録するタイムコードを選択します。 OFF : TC MODE 項目 /TCG 項目 /FIRST REC TC 項目で設定されたタイムコードで記録します。 ON : DV 端子に入力されている信号のタイムコードで記録します。 ●この項目が ON に設定された場合、TC MODE 項目 /TCG 項目 /FIRST REC TC 項目の設定よりも優先されます。 ●DV 端子に信号が入力されていないときは、TC MODE 項目 /TCG 項目 /FIRST REC TC 項目の設定に従います。
TC MODE (カメラ) (VCR)	内部タイムコードジェネレーターのタイムコードを記録するときの、タイムコード補正モードを選択します。 DE : ドロップフレームモードを使用します。 NDF : ノンドロップフレームモードを使用します。 ●プログレッシブモードを 24P や 24P (ADV) に設定しているときは、この項目の設定に関係なく、ノンドロップフレームモードになります。
TCG (カメラ) (VCR)	内部タイムコードジェネレーターを歩進させる動作モードを設定します。 FREE RUN : 動作モードに関係なく歩進させます。 REC RUN : 記録中のときに歩進させます。

項目/ (表示モード)	設定内容
FIRST REC TC (カメラ) (VCR)	記録開始時に記録するタイムコードを選択します。 REGEN : テープ上のタイムコードに連続する (リジエネする) ように記録します。 PRESET : テープ上のタイムコードにリジエネを行いません TC PRESET 項目で設定した値を初期値として、タイムコードを記録します。 ただし、つなぎ撮りを行ったときは、強制的にリジエネを行います。
TC PRESET (カメラ) (VCR)	記録するタイムコードの初期値を設定します。 FIRST REC TC 項目で PRESET を選択したときに有効になります。 ●プログレッシブモードを 24P や 24P (ADV) に設定しているときは、フレームの値を、0 または、5 の倍数に設定してください。他の値の場合、記録するタイムコードがずれます。
1394 UB REGEN (VCR)	DV 端子に接続している機器の信号を記録するとき、記録するユーザーズビットを選択します。 OFF : UB MODE 項目で選択されているユーザーズビットで記録します。 ON : DV 端子に入力されている信号のユーザーズビットで記録します。 ●この項目が ON に設定された場合、UB MODE 項目の設定よりも優先されます。 ●ユーザーズビット情報が無い信号の場合は、ユーザーズビットを記録しません。 ●DV 端子に信号が入力されていないときは、UB MODE 項目の設定に従います。

_____ は、工場出荷モードです。

RECORDING SETUP 画面

項目/ (表示モード)	設定内容
UB MODE (カメラ) (VCR)	<p>ユーザースピットとして記録する内容を設定します。</p> <p>USER : ユーザの情報を記録します。</p> <p>TIME : 記録した時刻を記録します。</p> <p>DATE : 記録した日付を記録します。</p> <p>TCG : タイムコードジェネレーターの値を記録します。</p> <p>FRM. RATE : フレーム変換のフレームレート情報を記録します。</p> <p>** 0* ** *</p> <p>┌───┬───┬───┬───┐ └───┴───┴───┴───┘</p> <p>記録管理情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 更新フレーム情報 ● REC START/STOP 情報 <p>フレームレート情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ● フレームレート (60/30/24) ● I/P 識別情報 ● 変換情報 ● フレームレート係数 <p>フレームシーケンス No.</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 24P/24P (ADV) モードのときは、0 ~ 4 を表示。 ● 60i/30P モードのときは、F を表示。 <p>ユーザースピット値の検算情報</p>
UB PRESET (カメラ) (VCR)	<p>ユーザースピットを設定します。</p> <p>ただし、UB MODE 項目で USER を選択している必要があります。</p>

項目/ (表示モード)	設定内容
INTERVAL REC (カメラ)	<p>間欠記録モードを設定します。</p> <p>OFF : 間欠記録を行いません。</p> <p>ON : START/STOP ボタンを押すと、REC TIME 項目と INTERVAL TIME 項目で設定したサイクルで、間欠記録を行います。</p> <p>ONE-SHOT : コマ撮り撮影モードになります。 START/STOP ボタンを押すと、REC TIME 項目で設定した秒数の記録を行い、記録一時停止状態になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 間欠記録モードを ON や ONE-SHOT に設定すると、VCR の動作モードの左に「I-」が点滅します。記録を開始すると「I-」が点灯します。 ● 間欠記録モードを ON や ONE-SHOT に設定しても、電源を OFF にしたときは、間欠記録モードが OFF に戻ります。 ● プログレッシブモードを 24P や 24P (ADV) に設定しているときは、この項目の設定に関係なく、OFF になります。
REC TIME (カメラ)	<p>間欠記録を行うときの記録時間の設定</p> <p>0.5s : 0.5 秒 1s : 1.0 秒 1.5s : 1.5 秒 2s : 2.0 秒</p>
INTERVAL TIME (カメラ)	<p>間欠記録時を行うときのインターバル時間の設定</p> <p>30s : 30 秒 1m : 1 分 5m : 5 分 10m : 10 分</p>

AV IN/OUT SETUP 画面

項目/ (表示モード)	設定内容
A DUB INPUT (VCR)	<p>アフレコを行うときに記録する音声を選択します。</p> <p>MIC : 内蔵のマイクロホンや INPUT1/2 端子に接続した外部機器の音声を記録します。(CH1 SELECT スイッチと CH2 SELECT スイッチで切り替えます。)</p> <p>A_IN : AUDIO IN/OUT 端子 (ピンジャック) に接続したオーディオ機器の音声を記録します。</p> <p>< ノート > 16bit 音声モードで記録されている場合、アフレコを行うと撮影時の音声に上書きして記録されます。</p>
DV OUT (VCR)	<p>入力されているアナログ信号をデジタル信号に変換して、DV 端子から出力する機能の ON/OFF を切り替えます。</p> <p>OFF ON</p>

_____ は、工場出荷モードです。

DISPLAY SETUP 画面

項目/ (表示モード)	設定内容
ZEBRA DETECT 1 (カメラ)	ビューファインダーや液晶モニターに表示する、左側に傾いたゼブラパターンのレベルを設定します。 80%、85%、90%、95%、100%
ZEBRA DETECT 2 (カメラ)	ビューファインダーや液晶モニターに表示する、右側に傾いたゼブラパターンのレベルを設定します。 80%、85%、90%、95%、100%、OFF <ノート> OFF に設定したときは、このゼブラパターンを表示しません。
MARKER (カメラ)	マーカーの表示 ON/OFF を切り替えます。 ON OFF ● ON に設定すると、ZEBRA ボタンを押してマーカーを表示することができません。 マーカーを表示しているときは、画面中央付近の映像レベルを画面左下に%で表示します。
VIDEO OUT OSD (カメラ) (VCR)	ON に設定すると、ビューファインダーや液晶モニターに表示している情報を、映像と一緒に映像出力信号として出力します。 ON OFF
DATE/TIME (カメラ) (VCR)	ビューファインダーや液晶モニターと映像出力信号に、日付や時刻を表示する設定を行います。 OFF : 日付や時刻を表示しません。 TIME : 時刻を表示します。 DATE : 日付を表示します。 TIME&DATE : 日付と時刻を表示します。 ● OFF 以外に設定すると、映像出力信号には、VIDEO OUT OSD の設定に関係なく日付や時刻が表示されます。
LEVEL METER (カメラ) (VCR)	オーディオレベルメーターの表示 ON/OFF を切り替えます。 OFF ON
ZOOM・FOCUS (カメラ)	ズーム値とフォーカス値の表示 ON/OFF を切り替えます。 OFF ON
TAPE・BATTERY (カメラ) (VCR)	テープ残量とバッテリー残量の表示 ON/OFF を切り替えます。 OFF ON
OTHER DISPLAY (カメラ) (VCR)	ビューファインダーや液晶モニターに表示する情報量を設定します。(56 ページ参照) OFF、PARTIAL、ALL

項目/ (表示モード)	設定内容
CAMERA DATA (VCR)	ON に設定すると、テープを再生するとき撮影時のカメラ情報 (手ぶれ補正、絞り値、ゲイン値など) を表示します。 OFF ON
LCD BACKLIGHT (カメラ) (VCR)	液晶モニターのバックライトを調整します。 HI に設定すると、通常よりも明るくなります。 HI NORMAL
LCD/EVF SET (カメラ) (VCR)	ビューファインダーや液晶モニター映像の表示レベルを調整します。 LCD BRIGHTNESS : 液晶モニター映像の明るさを調整します。 LCD COLOR LEVEL : 液晶モニター映像の色濃度を調整します。 EVF BRIGHTNESS : ビューファインダー映像の明るさを調整します。
SELF SHOOT (カメラ)	対面撮影を行うときに、液晶モニターのミラー機能を切り替えます。 MIRROR に設定すると、対面撮影時に液晶モニターの映像が左右反転して表示されます。 NORMAL MIRROR
EVF MODE (カメラ) (VCR)	液晶モニターとビューファインダーの表示切り替えを選択します。 ON ビューファインダーには、常に映像を表示します。 AUTO : 液晶モニターを開くと、ビューファインダーの映像が消えます。

_____ は、工場出荷モードです。

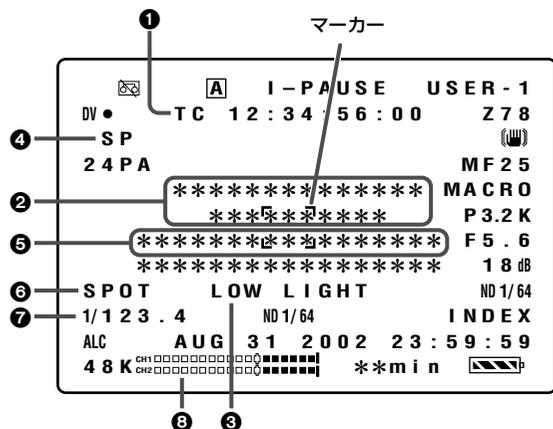
OTHER FUNCTIONS 画面

項目/ (表示モード)	設定内容
REMOTE (カメラ) (VCR)	付属のワイヤレスリモコンでの操作を設定します。(リモコン側の設定は、23 ページを参照) VCR1 : VCR1 用に設定されたリモコンでの操作を受け付けます。 VCR2 : VCR2 用に設定されたリモコンでの操作を受け付けます。 OFF : リモコンでの操作を受け付けません。
DV CONTROL (カメラ)	DV 端子にバックアップ用の機器を接続して、バックアップ撮影を行う場合の制御方法を設定します。 OFF : バックアップ用の機器を制御しません。 EXT : 本機の START/STOP ボタンで、バックアップ用の機器を制御します。本機で撮影している映像を、バックアップ用の機器で記録します。 ただし、本機は記録動作を行いません。 BOTH : 本機で撮影している映像を、本機とバックアップ用の機器の両方で記録します。 CHAIN : 撮影中に本機のテープが終端付近になると、記録待機状態になっているバックアップ用の機器で、自動的に記録を開始します。
DV CMD SEL (カメラ)	本機の START/STOP ボタンを押したときに、バックアップ用の機器が行う記録動作を設定します。 REC.P : 記録と記録一時停止に切り替わります。 STOP : 記録と停止に切り替わります。 <ノート> バックアップ用の機器に、記録一時停止の機能がない場合は、STOP を選択してください。
REC LAMP (カメラ)	タリールランプの点灯を設定します。 OFF : タリールランプは点灯しません。 FRONT : フロントのタリールランプ (マイクロホン側) が点灯します。 REAR : リアのタリールランプ (ビューファインダー側) が点灯します。 BOTH : フロントとリア、両方のタリールランプが点灯します。

項目/ (表示モード)	設定内容
BEEP SOUND (カメラ)	ビープ音の ON/OFF を切り替えます。 OFF ON ON に設定すると、下記のときにビープ音を発信します。 ● ビープ音を発信するときは、出力端子からの音声信号をミュートしてビープ音を出します。 [ビープ音 1 回] ● POWER スイッチを ON にしたとき ● 撮影を開始したとき [ビープ音 2 回] ● 撮影を一時停止したとき [ビープ音連続 10 回] ● カセットテープが挿入されていないとき ● カセットテープが記録禁止状態のとき ● 本機内部に結露が発生したとき ● 本機に異常が発生したとき
CLOCK SET (カメラ) (VCR)	本機の内蔵カレンダーを設定します。
TIME SHIFT (カメラ) (VCR)	この項目で設定した時間を、内蔵カレンダーの時刻に加算 (時差補正) して、ビューファインダーや液晶モニターに表示します。また、テープにも、加算した時刻が記録されます。 + 23h ... + 1h, OFF, - 1h ... - 23h (1 時間ステップ)
TAPE PROTECT (カメラ)	撮影一時停止の状態で、約 5 分が経過すると自動的に本機はテープ保護モードに入ります。この項目では、どのようなテープ保護モードにするかを選択します。 POWEROFF : 本機の電源を OFF の状態にします。 STBY : シリンダーヘッドを停止状態にします。
USER FILE (カメラ) (VCR)	LOAD : 前回保存されたユーザーファイルの設定値を読み出します。 SAVE : 変更したユーザーファイルの設定値を保存します。 INITIAL : ユーザーファイルの設定値を工場出荷時の状態に戻します。 ● LOAD や INITIAL を行ったときは、設定値を有効にするために、本機の POWER スイッチを OFF にし、再度 ON にしてください。
HOURLY METER (カメラ) (VCR)	シリンダーヘッドの総回転時間 (時間単位で 5 桁) を表示します。

_____ は、工場出荷モードです。

カメラモード/VCRモード



① カウンター表示

COUNTER ボタンを押す毎に、下記のデータに切り替わります。

COUNTER :

カウンター値

M COUNTER :

メモリストップモードのカウンター値

TC :

タイムコード値

タイムコード値がテープから正しく読み取れなかったときには、[TC*] を表示します。

ドロップフレームモード運用しているときは、秒とフレームの間のコロンが「.」になります。

UB :

ユーザズビット値

ユーザズビット値がテープから正しく読み取れなかったときには、[UB*] を表示します。

FR :

撮影するフレームレート情報

FR 60I : 標準 (60i インターレース) モード (60 フィールド/秒)

FR 30P : 30P プログレッシブモード (30 フレーム/秒)

FR 24P : 24P プログレッシブモード (24 フレーム/秒)

FR 24PA : 24P アドバンスドモード (24 フレーム/秒)

FR 24P と FR 24PA のモードのときは、最終桁にフレーム変換のシーケンス情報を表示します。

② AWB/ABB 動作状態表示

オートホワイトバランスやオートブラックバランスの動作状態を表示します。

③ AWB エラー表示

LOW LIGHT :

オートホワイトバランス調整時、輝度が低すぎるときに表示します。

④ 記録時間モード表示 (SP/LP)

⑤ 設定切り替え表示

スイッチを切り替えたり、ボタンを押して設定を切り替えたときに、切り替わった設定を表示します。

⑥ オートアイリス制御状態表示

STD : 標準オートアイリス制御

SPOT : スポットライト用のオートアイリス制御

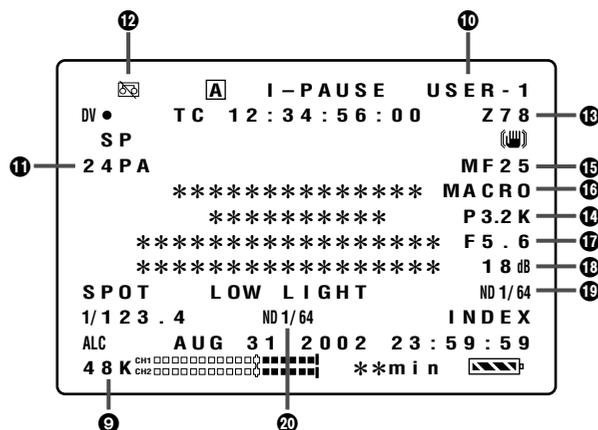
BACK : 逆光補正用のオートアイリス制御

⑦ シャッタースピード表示

通常は、シャッタースピードを表示します。ZEBRA ボタンを押してマーカを表示しているとき (20 ページ参照) は、画面中央付近の映像レベルを 0%~90% で表示します。90% を越えるときは、「90% ↑」を表示します。

⑧ オーディオレベルメーター表示





9 オーディオ・サンプリング周波数表示

10 シーンファイル名表示

11 プログレッシブ表示

プログレッシブモードで撮影するときのフレームレート情報を表示します。

12 ワーニング情報表示

REMOTE :

ワイヤレスリモコンの機器設定が違う場合、点滅します。



本機内部に結露が発生したときに点灯します。



シリンダーヘッドが汚れているときに点滅します。



カセットテープが挿入されていないときや記録禁止状態のときに点滅します。



ミラーモードで対面撮影を行っているときに、本機に異常が発生すると点灯します。



カレンダー用の内蔵電池が消耗しているときに点灯します。

13 ズームポジション表示

Z00 (広角最大) ~ Z99 (望遠最大) でズームポジションを表示します。

14 AWB 情報表示

ホワイトバランスの情報を表示します。

15 フォーカス制御情報表示

99 ~ 00 でフォーカス制御情報を表示します。

95 (焦点距離: 無限大)

:

50 (焦点距離: 約 1m)

49 以下 (マクロ範囲)

:

00 (焦点距離: 約 2cm)

- ズームポジションにより、マクロ範囲にならないことがあります。

また、ズームポジションにより、マクロ範囲の下限値が異なることがあります。

16 マクロ制御表示

17 アイリス表示

F 値を表示します。

18 ゲイン表示

設定されている映像アンプのゲイン値を表示します。

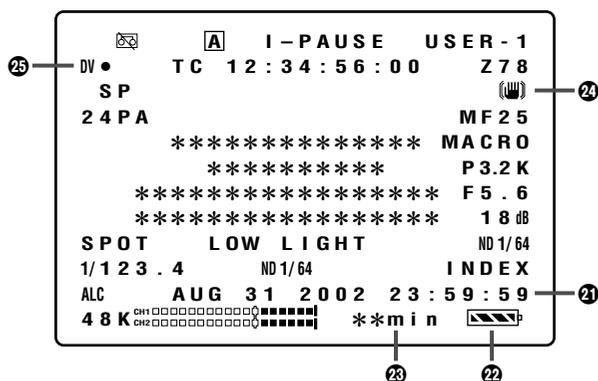
19 ND フィルター表示

選択している ND フィルターを表示します。

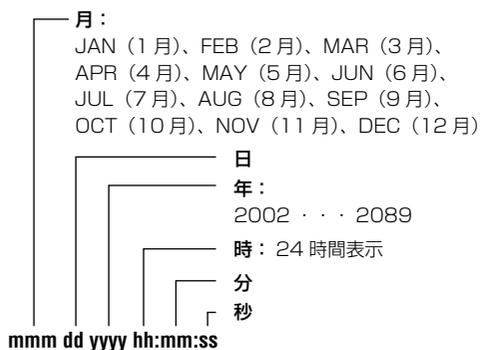
[ND --] が表示しているときは、ND FILTER スイッチがずれているとき (OFF、1/8、1/64 以外の位置) に表示されます。ND FILTER スイッチの位置を確認してください。

20 推奨 ND フィルター表示

現在の撮影条件下で、推奨する ND フィルターを表示します。



②① 日付と時刻表示



②② バッテリー残量表示

バッテリーの残量が少なくなるにつれ、と変わります。

容量が無くなると、 () が点滅します。

(AC アダプター使用時に 以外が表示される場合がありますが、問題ありません)

②③ テープ残量表示

テープ残量の計算中は無表示になります。
 また、間欠記録やスロー再生を行っているときは、テープ残量が表示されません。

②④ 手ぶれ補正 () 表示

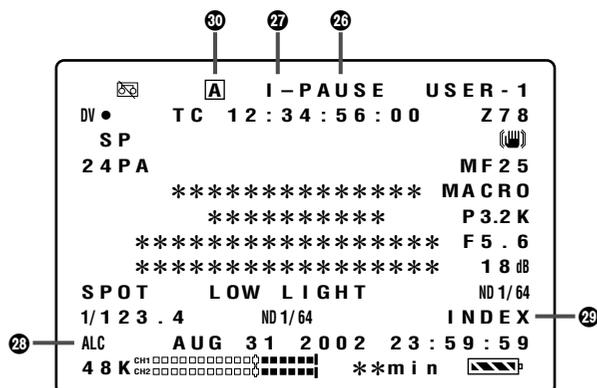
手ぶれ補正機能が ON に設定されているときに表示します。

②⑤ バックアップ用機器の状態表示

DV 端子に接続されている、バックアップ機器の状態を表示します。

設定メニュー OTHER FUNCTIONS 画面の DV CONTROL 項目を、OFF に設定していると表示しません。

- DV● : 記録
- DV II : 記録待機
- : バックアップ機器が制御できない状態
- DV : バックアップ機器が未接続
- DV -- : バックアップ機器は接続されていますが、記録や記録待機状態になっていない



26 動作状態表示

- REC : 記録
- : 記録 (対面撮影時)
- PAUSE : 記録待機
- || : 記録待機 (対面撮影時)
 - || : 再生一時停止
- STNDBY : スタンバイ (シリンダーヘッドを停止)
- A. DUB || : アフレコ記録待機
- A. DUB ▷ : アフレコ記録
- ▷ : 再生
 - ▷▷ (<◁) : 早送り/早送り再生 (巻き戻し/巻き戻し再生)
 - ▷▷ (<||) : スロー再生 (逆方向スロー再生)
- CHK : レックチェック
- ▷▷ (◁◁) : 頭出し (逆方向頭出し)
 - ▷▷ (<||) : コマ送り再生 (逆方向コマ送り再生)
- BLANK : ブランクサーチ
- REC END : レックエンドサーチ
- ×▷/×▷▷ (×<◁/×<◁◁) : 可変速サーチ (逆方向可変速サーチ)

27 間欠記録表示

設定メニュー RECORDING SETUP 画面の INTERVAL REC 項目を、ON または、ONE-SHOT に設定したときに表示します。

28 マイクレベル自動制御表示

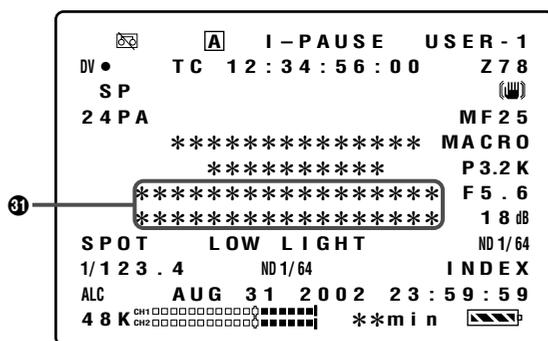
設定メニュー RECORDING SETUP 画面の MIC ALC 項目を、ON に設定したときに表示します。

29 インデックス記録表示

記録中に INDEX ボタンを押して、インデックス信号を記録するときに点灯します。記録の前に INDEX ボタンを押すと、点滅します。(インデックス信号記録の待機状態)

30 AUTO ボタン動作表示

AUTO ボタンを押したときに、設定メニューの AUTO SW 画面で設定された機能が動作しているときに表示します。



③① 警告表示

UNPLAYABLE TAPE (OTHER FORMAT)

テープフォーマットが違うため、再生することができません。

COPY INHIBITED

コピーガードされている入力信号なので、正しく記録することができません。

UNABLE TO A. DUB (LP RECORDED)

LP モードで記録されているテープなので、アフレコを行うことができません。

INCOMPATIBLE TAPE

規格が違うテープ（データ保存用テープなど）なので、使用することができません。

EXTERNAL

DV DISCONNECT

設定メニュー OTHER FUNCTIONS 画面の DV CONTROL 項目を EXT に設定して、DV 端子に外部機器を接続しないで撮影を行ったときに表示します。

AUTO OFF

テープ走行系の異常が発生したときに、AUTO OFF を表示します。AUTO OFF が表示したときは、本機の電源が自動的に OFF になります。

CYLINDER LOCK

LOADING LOCK

UNLOADING LOCK

T REEL LOCK

（テイクアップリールロック）

S REEL LOCK

（サブライリールロック）

WARNING

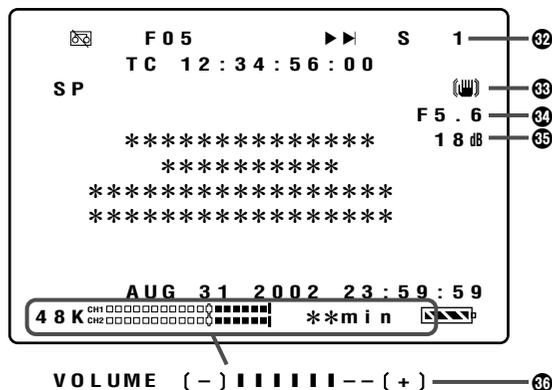
カメラ系の異常が発生したときに、WARNING を表示します。

FOCUS LOCK（フォーカス動作異常）

PSD NG（手ぶれ検出異常）

GYRO NG（手ぶれ補正制御異常）

VCR モード



③② サーチ番号表示

インデックスサーチを行ったインデックス番号を表示します。(S1 ~ S9)

③③ 手ぶれ補正(👋)表示

設定メニュー DISPLAY SETUP 画面の CAMERA DATA 項目を ON に設定していると、手ぶれ補正モードで撮影した場合、カメラデータとしてテープ再生時にも(👋)を表示します。

③④ アイリス表示

設定メニュー DISPLAY SETUP 画面の CAMERA DATA 項目を ON に設定していると、撮影時の F 値が、カメラデータとしてテープ再生時にも F 値を表示します。

③⑤ ゲイン表示

設定メニュー DISPLAY SETUP 画面の CAMERA DATA 項目を ON に設定していると、撮影時のゲイン値が、カメラデータとしてテープ再生時にもゲイン値を表示します。

③⑥ 再生音量レベルメーター表示

AUDIO MON/VAR (+/-) ボタンを押すと、再生音量のレベルメーターが表示されます。

画面表示

表示の選択

ビューファインダーや液晶モニター画面に表示する下記の項目は、MODE CHK ボタンを押したときや、設定メニュー DISPLAY SETUP 画面の OTHER DISPLAY 項目（48 ページ）の設定により表示します。

表示項目	MODE CHK ボタン	OTHER DISPLAY 項目の設定		
		ALL	PARTIAL	OFF
① カウンター表示	○	—	—	—
④ 記録時間モード表示 (SP/LP)	○	○	× (カメラ) ○ (VCR)	×
⑥ オートアイリス制御状態表示	○	○	○	×
⑦ シャッタースピード表示	○	○	○	×
⑧ オーディオレベルメーター表示	○	—	—	—
⑨ オーディオ・サンプリング周波数表示	○	○	× (カメラ) ○ (VCR)	×
⑩ シーンファイル名表示	○	○	×	×
⑪ プロGRESS表示	○	○	×	×
⑬ズームポジション表示	○	—	—	—
⑭ AWB 情報表示	○	○	○	×
⑮ フォーカス制御情報表示	○	—	—	—
⑰ アイリス表示	○	○	○	×
⑱ ゲイン表示	○	○	×	×
⑲ ND フィルター表示	○	○	×	×
⑳ 推奨 ND フィルター表示	○	○	○	×
㉑ 日付と時刻表示	○	—	—	—
㉒ バッテリー残量表示	○	—	—	—
㉓ テープ残量表示	○	—	—	—
㉔ 手ぶれ補正表示	○	○	○	×
㉘ マイクレベル自動制御表示	○	○	×	×
㉚ AUTO ボタン動作表示	○	○	○	×

○ : 表示する。
 × : 表示しない。
 — : 他の設定により表示を行います。

外部機器の接続

■ 外部機器を接続して、外部機器の映像信号や音声信号を本機に入力する場合、外部機器の出力端子に接続します。

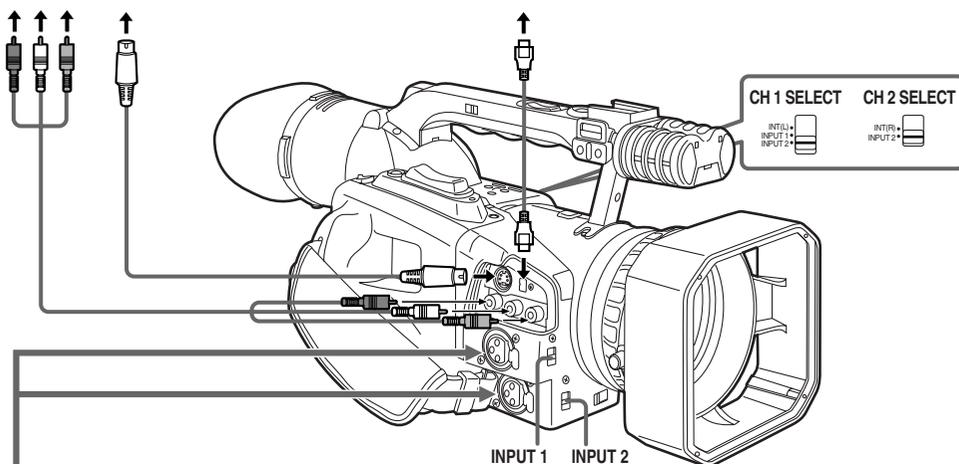
■ 外部機器を接続して、本機の映像信号や音声信号を外部機器に出力する場合、外部機器の入力端子に接続します。

- S-VIDEO IN/OUT 端子と VIDEO IN/OUT 端子の両方に映像信号が入力されている場合、S-VIDEO IN/OUT 端子の信号が優先されます。
- アフレコを行うとき以外は、S-VIDEO IN/OUT 端子や VIDEO IN/OUT 端子に映像信号が入力されていないと、音声信号を記録することができません。

- 外部機器からの信号を記録する場合、映像信号が入力されていることを確認してから記録を行ってください。
- 外部機器から信号を記録しているときは、外部機器側で出力を停止したり、ケーブルを抜かないでください。再度記録を行うときに認識できないことがあります。

■ DV 端子が搭載されているデジタルビデオ機器を接続して、映像信号や音声信号、また、タイムコードなどを、デジタルで伝送することができます。

- DV 端子に IEEE1394 ケーブルを接続したときに、外部から強い負荷を加えないでください。端子が破損することがあります。



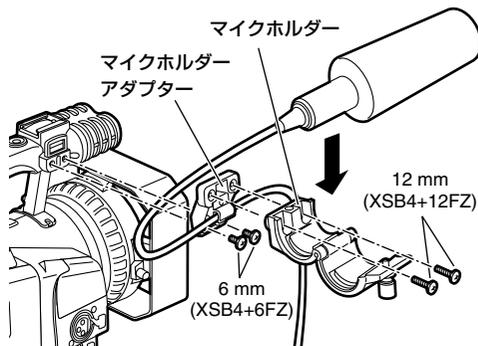
■ オーディオ機器を接続する場合、INPUT 1 スイッチまたは、INPUT 2 スイッチを LINE の位置にします。

入力レベルは、0dBu です。
記録レベルは、AUDIO コントロールつまみで調整します。

■ 外部マイクを接続する場合、INPUT 1 スイッチまたは、INPUT 2 スイッチを MIC の位置にします。

- 設定メニュー RECORDING SETUP 画面の MIC GAIN 1 項目と MIC GAIN 2 項目で、入力レベル（-50dBu と -60dBu）を設定します。
- 外部マイクを本機のマイクロホンシューに取り付ける場合は、付属のマイクホルダーとマイクホルダーアダプターを使用してください。

- 外部マイクの信号を CH1 と CH2 に入力するときは、外部マイクを INPUT 2 端子に接続し、CH1 SELECT スイッチと CH2 SELECT スイッチの両方を INPUT 2 の位置にしてください。(19 ページ参照)



準備と点検

撮影の前に、本機が正常に動作することを確認してください。

また、撮影条件に合わせて、機材の確認をしてください。

■ バッテリー

充電済みのバッテリーを用意します。また、予備のバッテリーを1本用意されることをお奨めします。

■ カセットテープ

カセットテープが記録できる状態のテープか確認してください。

- 誤消去防止状態になっていないか。
- 大切な映像が記録されていないか。
- カセットホルダーが確実に閉じているか。

■ ビューファインダー

ファインダーの視度調整ができていないか確認してください。

■ ズーム/フォーカス/アイリス

- モータードライブでのズーム操作と手動でのズーム操作ができることを確認してください。
- オートフォーカスと手動でのフォーカスが動作することを確認してください。
- オートアイリスと手動でのアイリスが動作することを確認してください。

■ タイムデータ

- カレンダーや時刻が正しいか確認してください。
- タイムコードやユーザーズビットが正しく設定されているか確認してください。

■ 外部機器

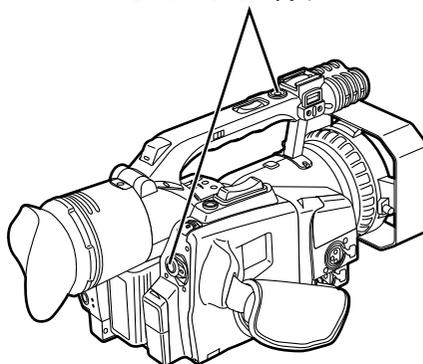
- 接続している外部機器が正常に動作するか確認してください。
- 外部機器が正しく接続されているか確認してください。

通常の撮影

本機の POWER スイッチを ON にし、START/STOP ボタンで撮影と撮影一時停止を切り替えます。

ローアングルで撮影するときは、ハンドル側の START/STOP ボタンで撮影を行うことができます。

START/STOP ボタン

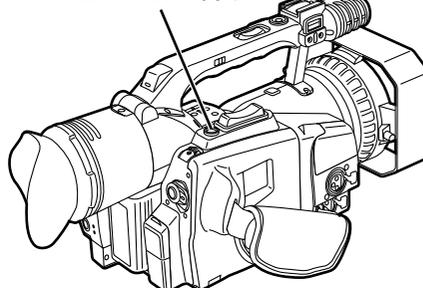


レックチェック

撮影一時停止状態のときに REC CHECK ボタンを押すと、停止していた直前約 2 秒間の映像と音声を再生し、元の位置で撮影一時停止状態になります。

- 1 秒間以上記録されていない場合は、レックチェック機能は使用できません。
- バックアップ機器を接続してバックアップ映像を記録している場合、このレックチェックの映像が記録されてしまいますので、ご注意ください。

REC CHECK ボタン



対面撮影

液晶モニターを開き、レンズ側に 180 度回転させて撮影者自身を録画すると、撮影した画像が普段と異なる印象を持つ場合があります。

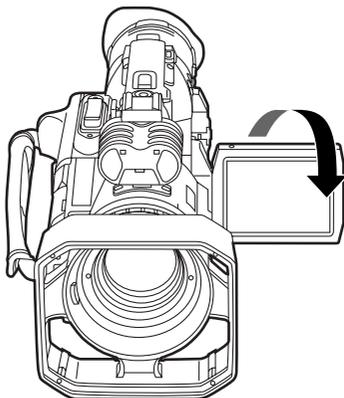
設定メニュー DISPLAY SETUP 画面の SELFSHOOT 項目で MIRROR を選択すると、液晶モニターには、左右が反転した映像が表示され、鏡を見ているイメージで撮影ができます。ただしミラーモードで撮影を行っても、記録された映像は通常に撮影されたものと同じです。鏡に映した状態では記録されません。

ミラーモードで撮影する場合、ビューファインダーや液晶モニターに表示される情報が下記に制限されます。

- : 撮影
- || : 撮影一時停止
- ☐  : バッテリー残量表示

❗ : 警告表示

❗ を表示した場合、液晶モニターを元に戻して、警告表示の内容を確認してください。



インデックス記録

撮影や記録の最中に INDEX ボタンを押すと、インデックス信号がテープに記録されます。

また、撮影や記録の一時停止状態のときに INDEX ボタンを押すと、インデックス信号の記録待機状態になります。

撮影や記録を開始すると、インデックス信号がテープに記録されます。

インデックス信号を記録することで、再生時に検索（インデックスサーチ）することができます。

USER ボタンの活用

USER1 ボタンと USER2 ボタンには、9 種類の機能から 1 つの機能をそれぞれのボタンに割り付けることができます。

被写体に合わせて、撮影する条件を瞬時切り替えることや、フェード効果を映像に加えることができます。

詳しくは、設定メニュー SW MODE 画面の USER1 項目と USER2 項目（44 ページ）を参照してください。

間欠記録

間欠記録には、一定時間おきに撮影するモードと、コマ撮り撮影モードの 2 種類があります。

① 設定メニュー RECORDING SETUP 画面の INTERVAL REC 項目で、間欠記録の撮影モードを設定します。（47 ページ）

- プログレッシブの 24P モードや 24P (ADV) モードに設定されている場合は、INTERVAL REC 項目が設定できません。

② REC TIME 項目で記録時間を設定します。

③ INTERVAL TIME 項目で待機時間を設定します。

④ START/STOP ボタンを押すと、間欠記録の撮影モードで記録を開始します。

⑤ OPERATION レバーを ■ 方向に倒すと、「I」が点滅して間欠記録を一時停止状態になります。

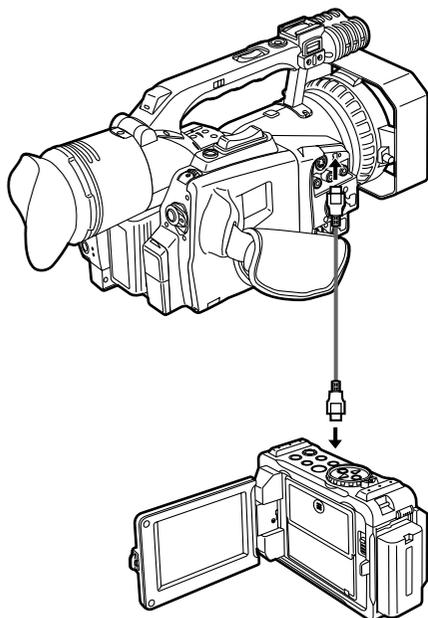
- 間欠記録中は、他の操作を受け付けません。
- 間欠記録中は、テープ残量が表示されません。

間欠記録モードを設定しても、電源を OFF にしたときは、間欠記録モードが OFF に戻ります。

バックアップ記録

DV 端子に接続した外部機器に、本機のカメラ映像を記録し、自動的にバックアップ記録を行うことができます。

- 設定メニュー OTHER FUNCTIONS 画面の DV CONTROL 項目と DV CMD SEL 項目で、外部機器の制御方法を設定してください。(49 ページ参照)



バックアップ記録を行う場合は、次のことに注意してください。

- メニュー項目の設定は、電源を OFF にしても記憶されているため、バックアップ記録を行った設定のまま本機を使用すると、接続機器のテープに映像を上書きしてしまうことがあります。バックアップ記録を行った後は、メニュー項目の設定を確認してから本機を操作してください。
- バックアップ記録を行う外部機器として、もう 1 台の AG-DVX100 を使用する場合、外部機器側の DV CONTROL 項目を OFF に設定し、VCR モードにして使用してください。
- バックアップ記録を行う場合、2 台以上の外部機器を接続すると正しく動作しないことがあります。
- 接続するときの IEEE1394 ケーブルの長さは、4.5m までにしてください。
- バックアップ記録を行うときは、外部機器で DV 信号を記録できる状態にしておいてください。
- DV CONTROL 項目（49 ページ）で「CHAIN」を設定してバックアップ記録を行うと、撮影中に本機のテープが終端付近になったときに、記録待機状態にしているバックアップ用の機器で、自動的に記録を開始します。

プログレッシブ撮影

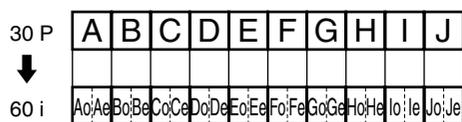
設定メニュー SCENE FILE 画面の PROGRESSIVE 項目 (42 ページ) で、プログレッシブモードを選択することができます。

30P モード：

30 コマ/秒のプログレッシブモードで撮影を行います。

映像信号は、30 コマ/秒の画像を 60 フィールドインターレース信号に変換し、出力や記録が行われます。

ずれない高画質な静止画を得ることができます。

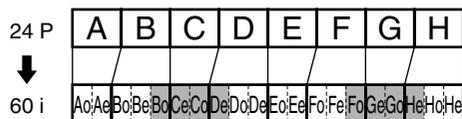


24P モード：

24 コマ/秒のプログレッシブモードで撮影を行います。

映像信号は、24 コマ/秒の画像を一般的な [2 : 3] 変換方式で 60 フィールドインターレース信号に変換し、出力や記録が行われます。

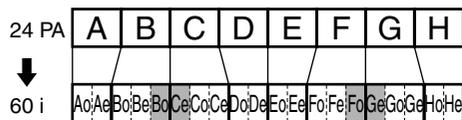
映画感覚の映像を得ることができます。



24P アドバンスモード：

24 コマ/秒のプログレッシブモードで撮影を行います。

映像信号は、24 コマ/秒の画像を、アドバンス変換方式で 60 フィールドインターレース信号に変換し、出力や記録が行われます。



従来の 24P [2 : 3] 変換方式で編集を行う場合、図の [BoCe] [CoDe] [FoGe] [GoHe] フレームでは、異なるコマの映像を伸張するため、画質の劣化が多くなります。

24P アドバンス変換方式では、図の [BoCe] [FoGe] のフレームを間引くことで、24P モードの画質劣化が少ない映像を得ることができます。

また、アドバンス変換方式に対応した編集システムを使用すると、24P モードに比べ、画質の劣化が少ない編集が実現できます。

- アドバンス変換方式に対応した編集システムを使用しない場合は、通常の 24P モードで撮影を行ってください。

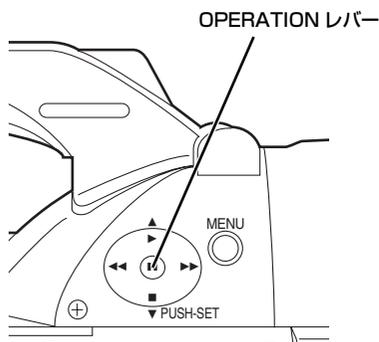
プログレッシブモードで撮影を行う場合は、次のことに注意してください。

- カラーバーは表示できません。
- ゲイン制御ができません。固定されたゲイン値で制御されます。
- オートフォーカス制御ができません。
- プログレッシブモードを切り替えたときに、映像の同期信号が一瞬乱れます。また、3 秒間程、映像が出力されません。
- シャッタースピードを 1/50 (OFF) または、1/60 に設定されることをお奨めします。
- 24P モードと 24P アドバンスモードで撮影を行うときは、5 フレーム単位で記録を行うため、記録を開始するタイミングが少し遅れることがあります。
- ATW (Auto Tracking White) 自動追尾式ホワイト機能を使用してプログレッシブモードで撮影を行う場合、AWB ボタンを押してもブラックバランスを調整することができません。

通常の再生

POWER スイッチを ON にし、CAMERA/VCR ボタンを押して、VCR モードに切り替えます。

OPERATION レバーや付属のワイヤレスリモコンで、通常の再生操作を行うことができます。



テープ保護モード

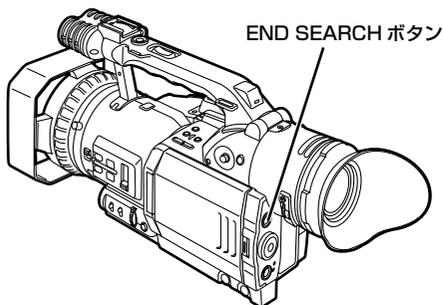
本機は、テープ保護のために再生一時停止や記録一時停止の状態、約5分が経過すると自動的に停止状態になります。

ただし、低温時の再生一時停止状態では、停止状態になる時間が早くなります。

ブランクサーチ

VCR モードのときに END SEARCH ボタンを押すと、無記録部分を検索することや、撮影した最後の部分を検索することができます。

詳しくは、END SEARCH ボタン (14 ページ) を参照してください。



可変速サーチ

再生速度変えて、場面を検索します。

- テープの再生中に、OPERATION レバーを ▶ の方向に倒すと、可変速サーチモードになり、ビューファインダーや液晶モニターに [1 ×] が表示され、× 1 倍速でテープを再生します。このとき、音声は再生されません。
- AUDIO MON/VAR ボタンを押すと再生速度が変化します。
再生速度は、AUDIO MON/VAR ボタンを押す毎に 1/5 (LP モードは 1/3) 倍速、1 倍速、2 倍速、5 倍速、10 倍速、20 倍速と変化します。
- + ボタンで正方向に速度を変化させ、- ボタンで逆方向に速度を変化させます。
- リモコンの場合は VAR. SEARCH ボタンを押すと可変速サーチモードになり、SET の [▲ ▼] ボタンで再生方向や再生速度を変化させます。
- 通常の再生に戻るときは、OPERATION レバーを ▶ の方向に倒します。

インデックスサーチ

テープに記録されたインデックス信号を検索します。

インデックスサーチは、付属のワイヤレスリモコンで行うことができます。

- テープの再生中にワイヤレスリモコンの INDEX ボタン (▶▶ または ◀◀) を押します。
ビューファインダーや液晶モニターの画面に [S1] が表示されて、次の場面の頭出しを始めます。
- サーチを途中でやめる場合は、STOP ボタン (■) を押します。
- 頭出し動作開始後、INDEX ボタンを押す毎に、[S2] [S3] が表示され、2 場面目以降の頭出しをすることができます。頭出しをすると、その部分から再生を始めます。(頭出しの指定ができるのは、前後 9 場面目までです)
インデックスとインデックスの間隔が 1 分以内の場合は、うまく働かないことがあります。

結露

内部に結露が起こったときの見わけかたと処置のしかた

ビデオカメラの電源を入れた後、結露表示マークが点滅したら、ビデオカメラ内に結露が起こっています。この場合、数秒間経過すると自動的に電源が切れます。次の処置をしてください。

① カセットを出します。

その他の機能は働きません。結露の状態によっては、カセットが出せない場合があります。この場合は、2～3時間待ってから出してください。

② カセットホルダーを開けたまま、2～3時間待ちます。

待ち時間は、結露の状態や周囲の温度により異なります。

③ 2～3時間後、電源を入れて、結露表示が消えているかどうかを確かめます。

結露表示が消えていても念のため1時間ほど待ってから使ってください。

結露表示が出る前にも結露にご注意ください。

- 結露は徐々に進行しますので、内部で結露が始まってから10～15分間は、結露表示が出ない場合があります。
- 特に温度が低い寒冷地では、露が凍結し、霜になることがあります。このような場合は、霜が溶けて露になるまでさらに2～3時間ほどかかります。

ビデオヘッド

ビデオヘッドがよごれていると、再生したときに部分的にモザイク状のノイズが出たり、画像全体が青くなります。

よごれがひどくなると、録画能力が低下し、最悪の場合は録画ができなくなります。

ヘッドよごれが起こる原因

- 空気中のほこりの多さ。
- 高温、多湿な環境。
- テープの傷。
- 長時間の使用。

クリーニングカセットテープを使う（付属品）

① クリーニングテープをカメラレコーダに挿入し、POWERスイッチをONにします。

② CAMERA/VCR ボタンを押し、VCRランプが点灯していることを確認します。

③ OPERATIONレバーを▶の方向に倒し、10秒経過してから、■の方向に倒します。（このときテープは巻き戻さないでください。）

④ クリーニングテープを取り出し、他のテープで試しに録画・再生をし、画像をチェックします。

⑤ 映像が鮮明でない場合、①～④の手順を繰り返します。

（クリーニングテープは4回以上続けて使用しないでください。）

- クリーニングテープは途中で巻き戻さないでください。テープの最後で巻き戻し、テープの始めから同様にもう一度使ってください。
- クリーニングしてもすぐにヘッドが汚れるときはテープが劣化している場合がありますので、直ちに使用を中止してください。
- クリーニングテープを使いすぎると、ヘッド摩耗の原因になります。摩耗すると、ヘッドをクリーニングした直後でも映像がきれいに再生されません。
- クリーニングテープを使用してもヘッド汚れが改善されない場合は、販売店での掃除・修理が必要です。販売店にご相談ください。

定期点検

美しい画像をご覧いただくために、ビデオヘッドなどの摩耗部品を、およそ使用1000時間を目安に交換されることをおすすめします。（ただし、温度、湿度、ほこりなどの使用環境によって、この時間は大幅に異なります。）

故障?と思ったら (Q&A)

電源関係

Q1 : 電源が入らない。

A1 : バッテリーや AC アダプターは正しく接続されていますか。接続を確認してみてください。(25 ページ)

Q2 : 電源がかってに切れる。

A2 : バッテリーの消耗やテープの摩耗を防ぐために、撮影の一時停止状態が 5 分以上続くと、自動的に電源が切れます。設定メニュー OTHER FUNCTIONS 画面の TAPE PROTECT 項目を確認してください。(49 ページ)

Q3 : 電源が入ってもすぐに切れる。

A3-1 : バッテリーが消耗していませんか。バッテリー残量表示が点滅していたり、 の表示が出ている場合は、バッテリーが消耗しています。バッテリーを充電するか十分に充電されたバッテリーを入れてください。(24 ページ)

A3-2 : 結露が発生していませんか。寒い所から暖かい所にビデオカメラを持ち込んだときなど、内部に結露が発生することがあります。この場合は、自動的に電源が切れ、カセット取り出し以外の操作はできなくなります。結露がなくなるまでお待ちください。(63 ページ)

バッテリー関係

Q1 : バッテリーの消耗が早い。

A1-1 : 十分に充電されていますか。AC アダプターの CHARGE ランプが消灯するまで充電してください。(24 ページ)

A1-2 : 低い温度の所で使っていませんか。バッテリーは、周囲の温度の影響を受けます。低い温度の所では、使用時間が短くなります。

A1-3 : バッテリーが寿命になっていませんか。バッテリーには寿命があります。寿命は使いかたによって変わりますが、十分に充電しても使用時間が短いときは、バッテリーの寿命です。

Q2 : バッテリーが充電できない。

A2-1 : DC コードが AC アダプターに接続されていませんか。DC コードを接続していると充電できません。

通常録画時

Q1 : カセットテープを正しく入れているのに録画できない。

A1-1 : カセットテープの誤消去防止つまみが開いていませんか。カセットテープについている誤消去防止つまみが開いている (SAVE 側になっている) と録画できません。(26 ページ)

A1-2 : カセットテープの終端 (テープの一番最後) 位置になっていませんか。新しいテープに交換してください。

A1-3 : POWER スイッチが [ON] になっていますか。

A1-4 : VCR ランプが点灯していませんか。VCR モードのときは、撮影することができません。

A1-5 : カセットホルダーが開いていませんか。カセットホルダーが開いていると、VCR の操作ができません。

A1-6 : 結露が発生していませんか。結露が発生していると、カセットテープの取り出し操作以外はできなくなります。結露がなくなるまでお待ちください。(63 ページ)

A1-7 : AUTO OFF/T REEL LOCK が表示していると、テープが切断していることが考えられます。テープを確認してください。

故障?と思ったら (Q&A)

いろいろな録画時

Q1 : 自動でピントが合わない。

A1-1 : 手動フォーカスモードになっていませんか。オートフォーカスモードにすると自動でピントが合います。(15 ページ)

A1-2 : オートフォーカスモードでピントが合いにくい場面を撮影していませんか。オートフォーカスでは、ピントの合いにくい場面があります。この場合は手動フォーカスモードでピントを合わせることができます。

ピントの合いにくい場面

- 遠くと近くのを撮る
- 汚れたガラスの向こうのを撮る
- 暗い場所を撮る
- キラキラと光るものが周りにある
- 動きの速いものを撮る
- コントラストの少ないものを撮る

編集関係

Q1 : アフレコができない。

A1-1 : カセットテープの誤消去防止つまみが開いていませんか。誤消去防止つまみが開いている (SAVE 側になっている) と編集できません。(26 ページ)

A1-2 : LP モードで撮影した部分に編集しようとしていませんか。LP モードでは、テープ上のトラック幅がヘッド幅より狭いため、アフレコはできません。

表示関係

Q1 : タイムコード表示がおかしくなる。

A1 : 逆スロー再生をすると、タイムコード表示のカウントが一定にならないときがありますが、故障ではありません。

Q2 : テープ残量表示が実際のテープ残量と合わない。

A2-1 : 30 秒以下の連続撮影では、残量表示が正確に出ません。

A2-2 : 実際のテープ残量より 2 ~ 3 分少ない表示が出る場合があります。

再生関係 (画像)

Q1 : 再生ボタンを押しても再生できない。

A1 : CAMERA/VCR ボタンを押して、VCR ランプを点灯させていますか。VCR ランプが点灯していないと、再生系の操作はできません。(14 ページ)

Q2 : 早送り再生、巻き戻し再生をすると、モザイク状のノイズが出る。

A2 : デジタル特有の現象です。故障ではありません。

Q3 : テレビと正しく接続しているのに再生画が出ない。

A3 : テレビの入力切替が「ビデオ入力」になっていますか。テレビ側の説明書をよくお読みになり、接続したビデオ入力端子を選んでください。

Q4 : 再生画像がきれいに映らない。

A4 : 本機のヘッドが汚れていませんか。ヘッドが汚れていると、再生画像がきれいに映りません。

故障?と思ったら (Q&A)

再生関係 (音声)

Q1 : 本機のスピーカーから再生音が出ない。

A1 : 本機の音量調整が小さくなりすぎていませんか。VCR モード時に、AUDIO MON/VAR ボタン+を押して音量を調整します。(18 ページ)

Q2 : 音声が重なって聞こえる。

A2 : 設定メニュー P L A Y B A C K FUNCTIONS 画面の 12bit AUDIO 項目を MIX に設定していませんか。(45 ページ)

設定メニュー RECORDING SETUP 画面の AUDIO REC 項目を 12bit に設定して記録したテープにアフレコ編集すると、記録時の音声と後から録音した音声が重ねて聞こえます。それぞれの音声を別々に聞くこともできます。(46 ページ)

Q3 : アフレコすると元の音声が消えてしまった。

A3 : 設定メニュー RECORDING SETUP 画面の AUDIO REC 項目を 16bit に設定して撮影した部分にアフレコすると元の音声が消えてしまいます。元の音声も残したい場合は、撮影時に 12bit に設定して撮影してください。(46 ページ)

その他

Q1 : カセットテープの取り出しができない。

A1 : 電源の供給はされていますか。AC アダプターやバッテリーが正しく入っていますか。

電源が供給されていると、POWER スイッチを [ON] にしなくてもカセットを取り出すことができます。

Q2 : カセットの取り出し操作以外なにもできない。

A2 : 結露が発生していませんか。結露が発生していると、カセットテープの取り出し操作以外はできなくなります。結露がなくなるまでお待ちください。(63 ページ)

Q3 : リモコンが働かない。

A3-1 : リモコンのボタン電池が消耗していませんか。リモコンを本機のリモコンセンサーの近くで操作しても動作しない場合は、ボタン電池が消耗しています。新しいボタン電池と交換してください。(23 ページ)

A3-2 : リモコンの設定は合っていますか。リモコンと本機の [REMOTE] 設定が合っていないと、リモコンを操作しても動作しません。(23 ページ)

Q4 : 本機を前後に傾けたときに、カタカタと音がする。

A4 : VCR モードのときや、POWER スイッチが OFF のときは、カメラ部の構造にカタカタと音がする部分があります。故障ではありません。

お手入れについて

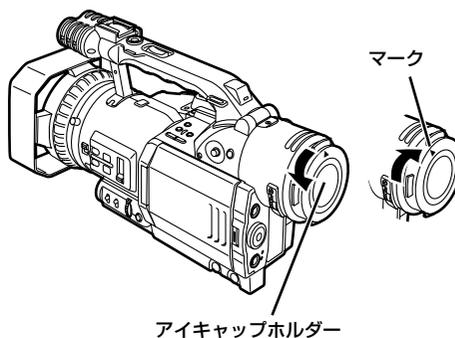
お手入れの際は、ベンジンやシンナーを使わないでください。

- ベンジンやシンナーを使うと、ビデオカメラ本体が変形したり、塗装がはげるおそれがあります。
- お手入れの際は、バッテリーを外しておくか、ACコードをコンセントから抜いておきます。
- 柔らかい、清潔な布でビデオカメラを拭いてください。汚れがひどいときは、水でうすめた台所用洗剤にひたした布で汚れを拭き、乾いた布で仕上げてください。

ビューファインダーのお手入れ

ビューファインダーの内部にホコリが付着した場合、アイキャップホルダーを取り外して除去してください。

- アイキャップホルダーの内側には、特殊処理を施していますので、絶対に拭かないでください。ホコリが付着したときは、エアブローなどで吹き飛ばしてください。
- アイキャップホルダーは、反時計方向に回して取り外します。このとき、少しビューファインダーを上向きにして行ってください。
- アイキャップホルダーを取り付けるときは、アイキャップホルダーのマークを上方向にし、時計方向に回して取り付けてください。



アフターサービス

アフターサービスについて

1. 保証書…内容のご確認と保存のお願い

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入を確かめて、お買い上げの販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

2. 保証期間…お買い上げ日から、本体は1年間

取扱説明書および本体貼付ラベル等の注意事項に従った正常なご使用状態で、保証期間内に万一故障を生じた場合には、保証書記載事項に基づき、販売店で「**無料修理**」させていただきます。保証期間内でも次の場合には、原則として有料にさせていただきます。

- (イ) 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
- (ロ) お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷
- (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変および公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障および損傷
- (ニ) その他指定外の使用条件で使用された場合に生じた故障および損傷
- (ホ) 他の接続機器および接続部材に起因して生じた故障および損傷
- (ハ) 別に指定する* 磨耗性の部品、あるいは付属品の故障および損傷

3. 補修用性能部品の最低保有期間

本機の補修用性能部品（機能維持のために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。

4. 修理を依頼される前に

この取扱説明書をよくお読みのうえ点検していただき、なお異常があるときは、必ずPOWERスイッチをOFFにしてから、販売店にお申しつけください。

5. ご転居・定期保守サービス等ご不明な点は、お買い上げの販売店にご相談ください。

* 磨耗性の部品とは、下記部品類です。

- | | |
|-----------|----------|
| ● ビデオヘッド | ● ゴムブリー類 |
| ● ピンチローラー | ● ローラー類 |
| ● 各種ブレイキ | ● ヘッド類 |
| ● モーター類 | |

定期保守のおすすめ

ビデオは

- 複雑なメカニズムで構成されており、ローラー、ヘッドなどが数多く使用されています。
- これら部品は、使用時間が経過するにつれて磨耗劣化し、故障の原因となります。
- また、ホコリ、ゴミなども安定した機能を妨げ、トラブル発生の原因となります。

このため、単に将来の故障発生時に行うアフターサービスにとどまらず、総合的なサービス、即ちビデオシステムの機能を正常に維持させ、消耗部品などによる突発的な故障を未然に防ぐために、保守サービス（メンテナンス）を定期的に行うことが非常に大切であるといえます。定期保守サービス（有料扱い）については、お買い上げの販売店にご相談ください。

定格

【総合】

電源電圧	DC7.2/7.9V
消費電力	6.8W (ビューファインダー使用時) 7.8W (液晶モニター使用時)

 は安全項目です。

動作周囲温度

0℃～+40℃

動作周囲湿度

10%～85% (結露なし)

重量

1.66 kg (バッテリーや付属品を除く)

外形寸法 (幅×高さ×奥行き)

139 × 160 × 364 mm

記録フォーマット

デジタルビデオ SD 仕様

テープフォーマット

Mini DV 方式

記録ビデオ信号

525i (NTSC)

プログレッシブモードでは、525i に変換して記録

撮影モード

60i (525i)、

プログレッシブモード (30P/24P/24P アドバンス)

記録オーディオ信号

PCM デジタル記録

16bit : 48kHz/2ch

12bit : 32kHz/4ch

記録トラック

デジタル・ビデオ/オーディオ :

ヘリカルトラック

タイムコード :

ヘリカルトラック (サブコード領域)

テープスピード

SP モード : 18.812 mm/秒

LP モード : 12.555 mm/秒

記録時間 (AY-DVM60 使用時)

SP モード : 60 分

LP モード : 90 分

使用テープ

6.35 mm 幅メタルテープ

FF/REW 時間

約 85 秒 (AY-DVM60 使用時)

撮像素子

CCD 型固体撮像素子 × 3

(1/3 インチ、インターライン型、プログレッシブ対応)

画素数

総画素 41 万画素、有効画素 38 万画素 (水平画素ずらし方式)

レンズ

LEICA DICOMAR 光学式手振れ補正レンズ、電動/マニュアル切り替え 10 倍ズーム、

F1.6 (f=4.5 ~ 45 mm)

(35 mm 換算 : 32.5 ~ 325 mm)

色分解光学系

プリズム方式

ND フィルター

1/8、1/64

ゲイン切り替え

0/+ 3/+ 6/+ 9/+ 12/+ 18dB (60i モードのみ)

シャッタースピード

プリセット

60i モード :

1/60 (OFF)、1/100、1/120、1/250、

1/500、1/1000、1/2000 秒

30P モード :

1/30、1/50 (OFF)、1/60、1/120、

1/250、1/500、1/1000 秒

24P/24P (ADV) モード :

1/24、1/50 (OFF)、1/60、1/120、

1/250、1/500、1/1000 秒

シンクロスキャン

60i モード : 1/60.3 ~ 1/250.0 秒

30P モード : 1/30.1 ~ 1/250.0 秒

24P/24P (ADV) モード :

1/24.1 ~ 1/250.0 秒

最低被写体照度

3 lux

(F1.6、ゲイン 18dB、映像出力 50 IRE)

レンズフード

広視野大型レンズフード

フィルター径

72 mm

液晶モニター

3.5 インチ、液晶カラーモニター、20 万画素

ビューファインダー

0.44 インチ、液晶カラービューファインダー、

18 万画素

内蔵マイク

ステレオマイクロホン

内蔵スピーカー

20 mm 丸形

定格

【ビデオ】

サンプリング周波数

Y : 13.5MHz、PB/PR : 3.375MHz

量子化

8bit

ビデオ圧縮方式

DCT + 可変長符号

エラー訂正

リードソロモン積符号

【オーディオ】

サンプリング周波数

48kHz/32kHz

量子化

16bit/12bit

周波数特性

20Hz ~ 20kHz

ワウ・フラッター

測定限界値以下

【コネクタ一部】

VIDEO IN/OUT (入出力自動切り替え)

ピンジャック、アナログ・コンポジット入出力、
1.0 V [p-p]、75 Ω

S-VIDEO IN/OUT (入出力自動切り替え)

S 端子、Y/C セパレート信号入出力、
Y : 1.0 V [p-p]、C : 0.286 V [p-p]、
75 Ω

AUDIO IN/OUT (入出力自動切り替え)

ピンジャック×2 (CH1、CH2)
入力 : 316mV、ハイインピーダンス
出力 : 316mV、600 Ω

DV

4ピン、デジタル入出力、IEEE1394 規格に
準拠

INPUT 1、INPUT 2

XLR (3ピン) × 2 (CH1、CH2)、
LINE/MIC 切り替え、ハイインピーダンス
LINE : 0 dBu
MIC : -50dBu/-60dBu (メニューに
て切り替え)

DC INPUT

7.9 V

PHONES

ステレオ (3.5 mm 径)、77mV、32 Ω

CAM REMOTE

ミニジャック (2.5 mm 径)

【AC アダプター】

定格入力 100V - 240V、50/60HZ

定格出力 8.4V、1.2A (充電時)
7.9V、1.4A (電源供給時)

入力容量

23VA (100V) /32VA (240V) 充電時
25VA (100V) /35VA (240V) 電源供給時

 は安全項目です。

重量

160 g

外形寸法 (幅×高さ×奥行き)

70 × 44.5 × 116 mm

【別売周辺機器】

ワイドコンバージョンレンズ

AG-LW7208G

16 : 9 コンバージョンレンズ

AG-LA7200G

XLR マイクロホン

AG-MC100G

ハードキャリングケース

AG-HT100G

ソフトキャリングケース

AG-SC100G

バッテリー

VW-VBD33

(1500 mAh : 付属のバッテリーと同等品)

VW-VBD35 (2700 mAh)

VW-VBD55 (5400 mAh)

AC アダプターキット

AG-B15 (付属の AC コード・DC コード・
AC アダプターと同等品)

クリーニングテープ

AY-DVMCL

松下電器産業株式会社 AVC 社 システム事業グループ

☎ 571-8503 大阪府門真市松葉町 2 番 15 号 ☎ (06) 6901 - 1161